

2024年版

十和田市 防災マップ

洪水・土砂災害・地震・火山



索引

	ページ
1 避難行動ガイド	①
2 マイ・タイムライン	②
3 避難行動判定フロー	②
4 風水害対策	③～
5 洪水(浸水)災害	⑤～
6 土砂災害	⑦
7 地域ぐるみで災害に備えよう	⑧
8 洪水・土砂災害防災マップ	⑨～
9 地震対策	⑩～
10 地震による揺れ予測マップ(震度分布図)	⑩～
11 火山対策	⑩～
12 十和田火山防災マップ	⑩～
13 八甲田山火山防災マップ	⑩～
14 わが家の防災メモ	⑩
15 非常時持出品と備蓄品	⑩
16 避難場所・避難所一覧	⑩
17 防災情報収集方法、防災関係機関連絡先	⑩



十和田市

最新の防災マップは
市のホームページに
掲載しています。



はじめに

「十和田市は災害が少ないまち」というイメージをお持ちの方が少なくないかもしれませんが、近年、日本各地では大規模な自然災害が発生するとともに激甚化する傾向にあります。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。災害から命を守るため、また被害を減らすためには、一人ひとりの心構えも重要です。行政による「公助」だけでなく自ら命を守る「自助」、地域で助け合う「共助」を心がけ、日ごろから災害への備えと知識の習得に努め、災害時には適切な行動が取れるようにしましょう。

この防災マップは、従来の洪水・土砂災害のほか、地震による揺れや火山災害を加え1つにまとめたものです。

平時から身近なところに置いて、避難所や避難経路の確認、各種災害への対策などの手引きとしてご活用ください。

そして、何よりも大切な命を守るため、一人ひとりが災害への意識を高め、非常時持出品の準備を忘れず、災害に備えましょう。

災害から命を守るために

3つのポイント

- 1 各種災害について、現象や対策、避難のタイミングを確認しましょう。(P2~P8、P31~P32、P39~P40)
- 2 危険な場所や避難場所・避難経路を確認しましょう。(P9~P30、P33~P38、P41~P44)
- 3 非常時持出品・備蓄品を日ごろから準備しましょう。(P45)

1 避難行動ガイド

学校やコミュニティセンターなど指定された「避難所」に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を避けることで、既に周辺で災害が発生していたり、避難所までの移動がかえって命に危険を及ぼしかねないと判断した場合には、「近隣の安全な場所」や自宅内での「屋内安全確保」などを行います。

基本的な4つの避難行動

状況に合った臨機応変な行動が大切です。

1 行政が指定した避難場所への避難

時間にまだ余裕があるので、避難所には身の回りの必要なもの(スリッパや着替え、常用医薬品など)を持参しましょう。

2 安全な親戚・知人家、もしくはホテル・旅館などへ避難

親戚・知人には事前に避難可能なのか相談しておきましょう。
*ホテルなどは、宿泊料金が掛かります。

3 近隣の強固で高い建物などへ避難

ハザードマップであらかじめ安全を確認しておきましょう。あくまでも緊急避難という場合です。

4 自宅内の安全な場所へ移動

屋外の状況がすでに危険で避難困難な場合は、自宅の最も安全な場所へ移動しましょう。

屋外の状況

危険度



2 マイ・タイムライン

マイ・タイムラインを
作成し安全に避難を!!

避難指示などが発令されたとき、「自分だけは大丈夫」と思ったことはありませんか。
いざという時に慌てずに行動するために、いつ何をするのか整理しておきましょう。
それが、マイ・タイムラインです。家族でよく話し合っ、作成しましょう。

災害発生情報

警戒レベル5

身の安全の確保

大雨特別警報
氾濫発生情報
(国の指定河川のみ)

警戒レベル4
避難指示
避難の実施
土砂災害警戒情報
氾濫危険情報

警戒レベル3
高齢者等避難
避難の準備

大雨警報・洪水警報
氾濫警戒情報



雨は大丈夫かな?

情報収集
氾濫注意情報

大雨の予報
情報収集

避難の準備

足元に注意だよ

落ち着いて

青森県ホームページ
あおりマイ・タイムライン
風水害(台風・大雨)編



3 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は?

必ず取り組みましょう

P9~P30の洪水・土砂災害防災マップで
自分の家がどこにあるか確認し、印をつけ
てみましょう。

※防災マップは浸水や土砂災害による被害が発生する
おそれの高い区域を着色した地図です。着色されて
いないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある地区(住所)に「土
砂災害警戒区域」・「洪水浸
水想定区域」のいずれかの
色が塗られていますか?

「洪水」・「土砂災害」については原則として
避難の必要はありませんが、地図を確認し、
周り比べて低い土地(過去の洪水での浸
水範囲)や崖のそばなどにお住まいの方は、
必要に応じて避難行動をとってください。

はい



いいえ

災害の危険があるので、原則として、
自宅の外に避難が必要です。

※浸水の危険があっても、
①浸水する深さよりも高いところにいる
②浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧
などの備えが十分にある場合は自宅に留まり
安全確保をすることも可能です。

例外

※土砂災害の危険があるが、自宅の外へ避難がどうし
ても困難な時は、ガケから離れた部屋や2階など、家
の中でより安全な場所に移動する。

はい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時
間がかかりますか?

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚
や知人はいますか?

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚
や知人はいますか?

はい

いいえ

洪水や土砂災害に関する
警戒レベル 3 が出たら、
安全な親戚や知人宅に避
難しましょう(日頃から相
談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する
警戒レベル 3 が出たら、
市が開設している指定緊
急避難場所や指定避難所
に避難しましょう

洪水や土砂災害に関する
警戒レベル 4 が出たら、
安全な親戚や知人宅に避
難しましょう(日頃から
相談しておきましょう)

洪水や土砂災害に関する
警戒レベル 4 が出たら、
市が開設している指定緊
急避難場所や指定避難所
に避難しましょう

4 風水害対策①

気象情報と警戒レベル

気象庁による気象情報(警報など)に注意し、早めの避難を心がけましょう。

警報、情報等		発表基準
大雨	注意報	大雨により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する
	警報	大雨により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する
	特別警報	大雨により重大な災害の起こるおそれが著しく大きいと予想される場合に発表する
洪水	注意報	洪水により災害が起こるおそれがあると予想される場合に発表する
	警報	洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合に発表する
暴風	注意報(強風)	強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する
	警報	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する
	特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表する
大雪	注意報	降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、大雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する
	警報	降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する
	特別警報	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表する
風雪	注意報	風雪注意報は、雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する
	警報	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表する
	特別警報(暴風雪)	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表する
土砂災害警戒情報		大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難指示を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する
記録的短時間大雨情報		大雨警報が発表されている時に、数年に1度程度しか発生しないような猛烈な短時間の大雨を観測または解析したことを発表する

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)		
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)	
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~							
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警戒情報	大雨警報	
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮 注意報	2相当	氾濫注意情報	—————	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	—————	—————	

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

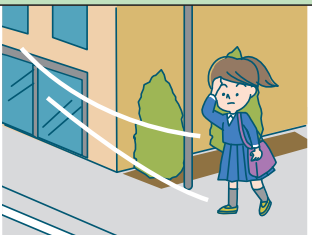

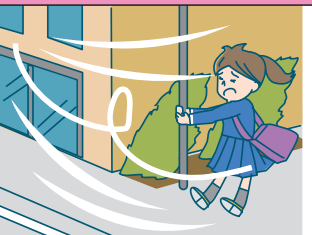
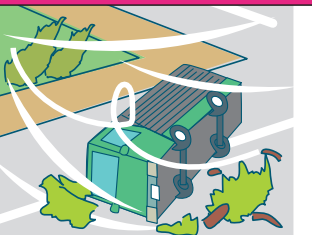
避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5**はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。  
**警戒レベル3**高齢者等避難や**警戒レベル4**避難指示で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

# 4 風水害対策②

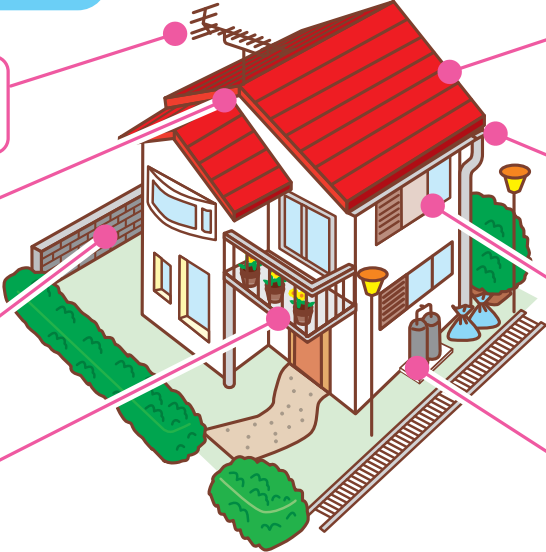
## 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 風に向かって歩きにくくなる。</li> <li>• 傘がさせない</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 風に向かって歩けない。</li> <li>• 転倒する人もいる。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• しっかりと身体を確保しないと転倒する。</li> <li>• 風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 立ってられない。屋外での行動は危険。</li> <li>• 樹木が根こそぎ倒れはじめる。</li> </ul>

## 風水害の備えと対策

### ① 住宅設備等の確認

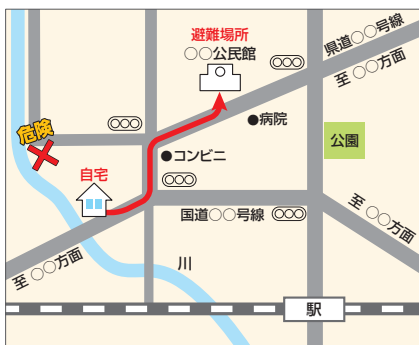


- 不安定な屋根のアンテナや、瓦なども専門家に頼んで直してもらいましょう。
- 瓦のひび割れ、ずれ、はがれがないか点検しましょう。
- ブロック塀のひび割れや、石垣の崩れは補強しましょう。
- 植木鉢などを整理します。落ちる危険がある場所には、何も置かないようにしましょう。
- トタンのめくれ、はがれのないことを確認しましょう。
- 雨樋に落ち葉や土砂が詰まっていたり、継ぎ目のはずれがないか確認しましょう。
- 窓にひび割れやがたつきがないか確認しましょう。
- ガスは、ボンベを鎖で動かないよう固定しておきましょう。

出典：消防庁ホームページ防災・危機管理eカレッジを加工して作成

### ② 避難経路の確認

実際に避難経路を歩いてみて、危険な場所がないか確認しておきましょう。



### ③ 家財の移動

浸水のおそれがある家財を建物の2階などの高い場所に移動しておきましょう。



### ④ 雨水ますなどの清掃

道路にある雨水ますなどに、たまった落葉やゴミの清掃にご協力ください。



## 土のうステーションをご活用ください

市では、大雨による家屋等の浸水被害を未然に防止するため、市民の皆様が必要に応じていつでも土のうを持ち出せる、「土のうステーション」を設置しております。

◎設置箇所・使用方法等の詳細はこちらから



# 5 洪水(浸水)災害①

毎年起きている洪水災害や土砂災害の主な原因は、雨によるものです。

近年の異常気象の影響で、今まで被害の無かった地域も台風が通過したり、大雨で河川が氾濫したりして、甚大な被害を受けています。気象情報やお住まいの地域の防災情報などに注意して、早めの対応をしましょう。

## 雨の降り方と強さのイメージ

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
 <p>1時間に 10~20 mm未満</p>	 <p>1時間に 20~30 mm未満</p>	 <p>1時間に 30~50 mm未満</p>	 <p>1時間に 50~80 mm未満</p>	 <p>1時間に 80mm~</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ザーザーと降る</li> <li>■地面一面に水たまりができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■どしゃ降り</li> <li>■傘をさしていてもぬれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■バケツをひっくり返したように降る</li> <li>■道路が川のようになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■滝のように降る</li> <li>■傘は全く役に立たなくなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■息苦しくなるような圧迫感がある</li> </ul>

## 線状降水帯による洪水・土砂災害

近年洪水や土砂災害を起こしている原因として、「線状降水帯」という言葉が盛んに使われています。大災害を引き起こすことも多く、天気予報でも発生が伝えられるようになりました。

### 線状降水帯とは

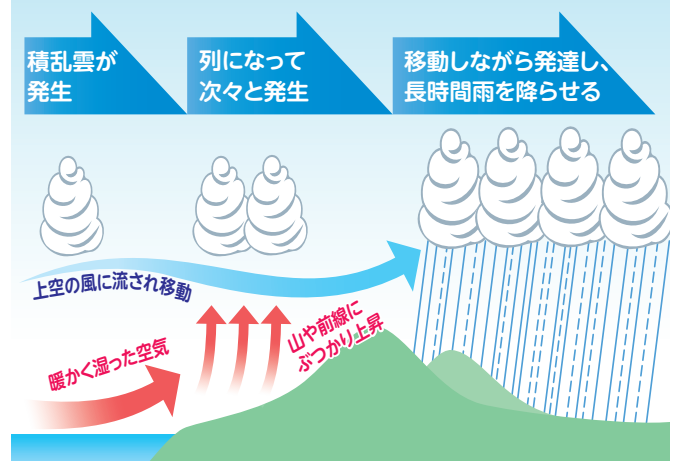
同じ場所で積乱雲が次々と発生して帯状に連なる現象で、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水をともなう雨域をいいます。

日本で起きた集中豪雨事例の約3分の2で線状降水帯が発生していたとされています。

気象庁ホームページ  
「線状降水帯に関する各種情報」



### 線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



## 水害の種類と発生の仕組み

大雨がもたらす災害は、河川の氾濫だけではありません。

災害が起きる前に、自分の地域にどのような水害の危険性があるのか確認しましょう。

### 外水氾濫(洪水)

大雨等で河川の水位が上昇し、堤防が決壊したり、河川の水が堤防を越えたりすることにより起こる氾濫を外水氾濫(洪水)といいます。



### 内水氾濫

雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することを内水氾濫といいます。



水位情報はこちらのWEBサイトで確認できます。

青森県河川砂防情報提供システム

検索



## 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。



# 5 洪水(浸水)災害②

## 洪水ハザード情報について

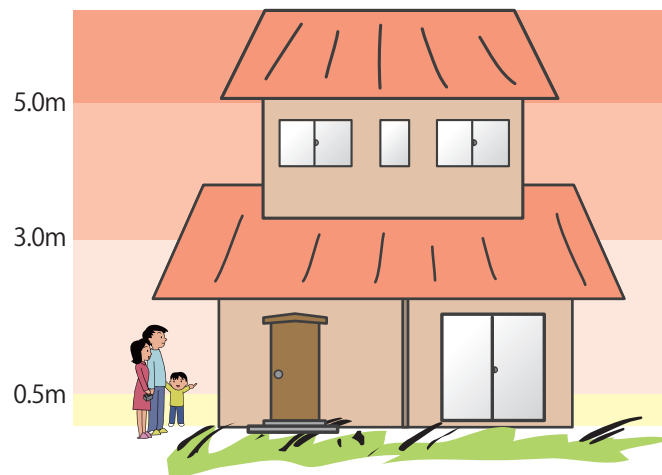
- 「洪水・土砂災害防災マップP9～P30」に表示している浸水想定は、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このマップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

## 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の指定

対象となる水位周知区間	指定の前提となる降雨	指定者	指定年月日
(奥入瀬川水系) 奥入瀬川	流域の12時間の総雨量 303mm	青森県県土整備部 河川砂防課	平成31年1月23日

### 浸水ランクの目安

5.0m 以上の区域	2階の屋根まで浸水する程度
3.0～5.0m 未満の区域	2階が浸水する程度
0.5～3.0m 未満の区域	1階が浸水する程度
0.5m 未満の区域	大人の膝までつかる程度



※浸水深の表示と配色は「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(国土交通省・国土技術政策総合研究所)」によります

## 避難行動のポイントと危険箇所

### 浸水が始まる前に早めの避難

氾濫水は流れが早く、大人の膝程度の深さでも歩行が困難になります。浸水してからの避難は危険。気象情報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を始めましょう。



### やむなく水の中を歩く際は

素足、サンダル、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などを履きましょう。また、氾濫水は濁っていて水中が見えないため、長い棒や傘などを杖代わりにして、マンホールや障害物に注意しながら歩きましょう。



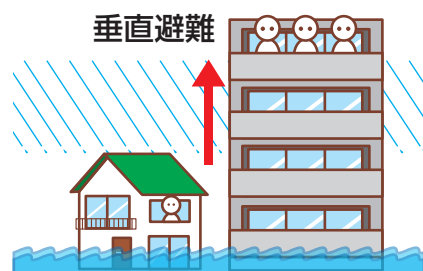
### 川や用水路には近づかない

注意報・警報の発表中は、川や用水路などの水辺には近づかない。河川状況などは、青森県のライブカメラなどで確認できます。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避けるようにしましょう。



### 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで行けない場合は、自宅の安全な高い階に避難しましょう。また、避難している途中でも、危険を感じたら近くの頑丈な建物の出来るだけ高い階に緊急避難しましょう。



### 地下室や地下は危険

地下にいと地上の状況が把握しずらく、避難経路が限定されます。また、地上が冠水すると一気に水が流れ込んでくる場合があります。停電になる可能性も高く、脱出が困難になります。



大雨や地震により地盤がゆるむと土砂災害が発生するおそれが高まります。危険箇所や前兆現象を確認し、危険を察知したら速やかに避難しましょう。

## 土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害が発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。以下のような前兆現象に気づいたら、避難情報の発令を待たずに、速やかに安全な場所に避難することが大切です。

**がけ崩れ発生**



地面にしみ込んだ雨水により、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちる現象です。

**！ 前兆現象** こんなときは要注意!



がけから小石が落ちてくる      斜面から水が湧き出る

**土石流発生**



山から崩れた土や石が、水と一緒に強い勢いで流れ下る現象です。

**！ 前兆現象** こんなときは要注意!



川の水に異常な濁りが生じる      河川の水位が急に減少

**地すべり発生**



やや傾斜の緩い斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く現象です。

**！ 前兆現象** こんなときは要注意!



山鳴りが聞こえる      がけにひび割れが発生している

## 警戒区域の指定 ※「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」

土砂災害から市民の生命を守るため、「土砂災害防止法※」に基づき、警戒区域が指定されています。

**土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)**

土砂災害が発生した場合、生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

**土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)**

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

## 土砂災害警戒情報に注意!

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、十和田市が避難情報を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、気象庁と青森県が共同で発表する防災情報です。気象庁や青森県のホームページで確認できるほか、テレビやラジオの気象情報でも確認できます。




## 土砂災害からの避難方法

**原則として区域外へ避難**

■避難情報により示される指定避難所等や、土砂災害警戒区域等の外の安全な場所へ避難しましょう。

■がけの上に自宅がある場合などは、倒壊のおそれがあるため、区域外へ急いで避難しましょう。

**← 水平避難**




**区域外への避難が難しい場合は**

■近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難しましょう。

■がけから離れた2階の部屋など、家の中でより安全な場所に避難しましょう。

**↑ 垂直避難**





# 7 地域ぐるみで災害に備えよう!

## 要配慮者への支援

ご高齢の方、心身に障がいのある方、外国人、乳幼児、妊婦など、避難時に早めの行動と援護が必要とされる方々がいらっしゃいます。近隣にお住いの方は、援護を必要とされる方々への声掛けや避難時の協力をお願いいたします。

### 要配慮者を安全に避難誘導するポイント

**ポイント1 声をかけて安心させて!**

#### 高齢者・乳幼児の場合

あらかじめ災害時の援護者を決めておきましょう。できるだけ複数で対応してください。

#### 病気やけがの人の場合

程度に応じて、声をかける、肩を貸す、手をそえるなどの援助をしてください。

**ポイント2 正確な情報を伝えよう**

#### 車いすを利用する人の場合

必ず、誰かが付き添ってください。段差があるところではゆっくりとした対応を。

#### 目の不自由な人の場合

「お手伝いしましょうか」とまず声をかけてください。誘導する時は、腕を貸してゆっくりと歩きましょう。

**ポイント3 安全な場所に誘導しよう!**

#### 耳の不自由な人の場合

情報を伝達する方法は手話が望ましいですが、身ぶり手ぶり・空中に文字を書く(空書)等いろいろな方法があります。本人の反応を見ながら複数の方法を用いたコミュニケーションをとってみましょう。

#### 外国人の場合

孤立させないよう、日本語でもよいので、声をかけてください。通じない場合は、身ぶり手ぶりを上手にしてください。



### 危険箇所内に位置する要配慮者利用施設 奥入瀬川浸水想定区域

No.	施設の名称(区分)	所在地	ページ
①	法奥小学校	奥瀬字下川目102-2	P18
②	法奥小学校仲よし会	奥瀬字下川目102-2	P18
③	湖楽園(特別養護老人ホーム)	奥瀬字下川目2-9	P18
④	グループホームはなは(老人ホーム)	藤島字中道52-1	P21
⑤	ぱれっと(障害福祉サービス等事業所)	奥瀬字下川目10-5	P18
⑥	Kの家(障害福祉サービス等事業所)	奥瀬字下川目10-6	P18
⑦	雑木林(障害福祉サービス等事業所)	赤沼字前川原269	P20

### 土砂災害警戒地域

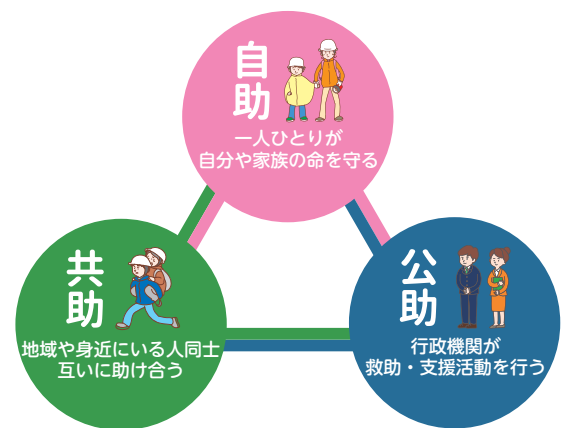
No.	施設の名称(区分)	所在地	ページ
⑧	まことホーム(救護施設)	大不動字山中12-1	P24

## 災害に強い地域をつくりませんか?

ひとたび大規模な災害が発生したときには、公的機関が行う活動 **公助** は交通網の寸断や同時多発火災などにより十分対応できない可能性があるため、個人の力で災害に備える **自助** とともに、地域での助け合い **共助** による地域の防災力が重要となります。

災害に強い地域づくりを目指して、災害時の被害を軽減するため「自主防災組織」の活動を通じて、共助の強化、地域の防災力の協力に向けた取り組みを始めてみませんか?

十和田市  
自主防災組織をつくりましょう



※自主防災組織を設立する場合、発電機等の設備について市の補助制度があります。

### Point 1 自主防災組織とは?

火災発生時はもちろん、日ごろから地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織を **自主防災組織** といいます。

平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食・給水などの活動を行います。



### Point 2 なぜ自主防災組織が必要なの?

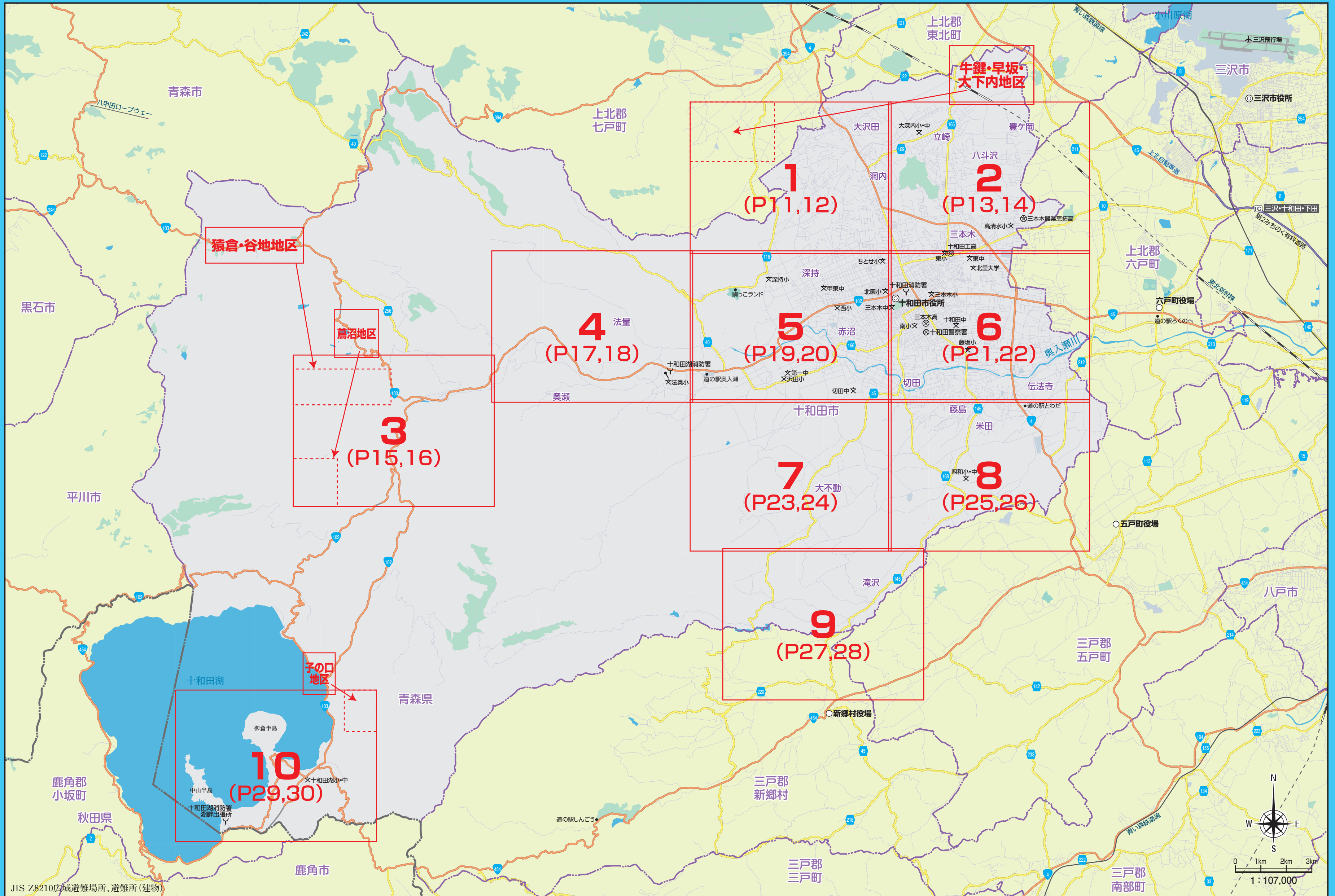
大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは、十分な対応ができない可能性があります。

このような時、地域の皆さんと一緒に協力し、災害や避難に関する

**情報の伝達** **避難誘導** **安否確認** **救出救護活動**

に取り組むことで被害の軽減を図ることができます。また、活動を迅速に進めるためには「お互いに顔の見える関係」の中で、事前に地域内で役割分担を決めておくことが有効です。

より効率よく、様々な活動をするためにも事前の準備(体制づくり)が重要です。



1	2
4	6

土砂災害凡例

**土砂災害  
特別警戒区域**

**土砂災害  
警戒区域**

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。

河川浸水想定凡例

指定緊急避難場所

避難場所

指定避難所

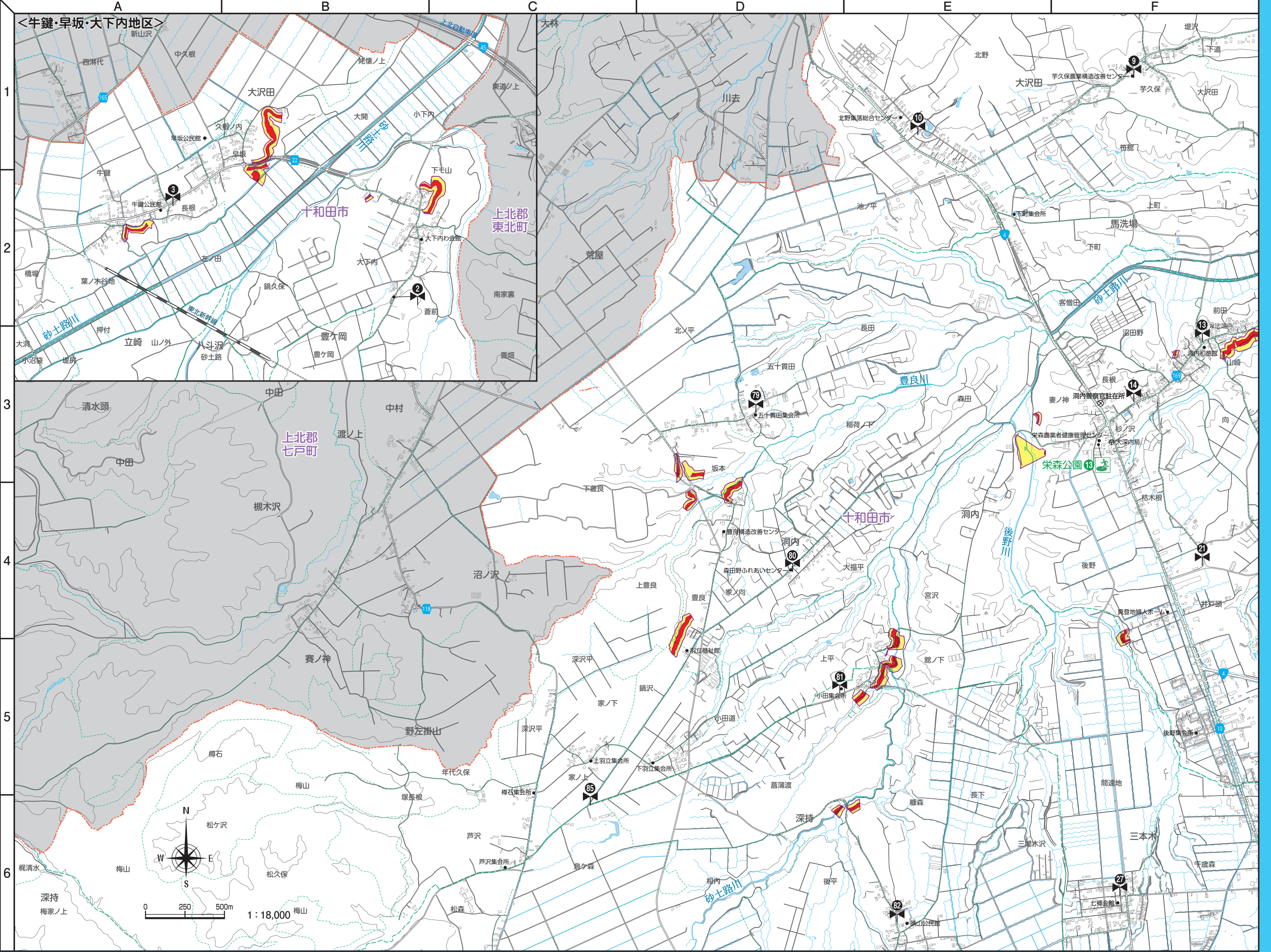
避難所

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

要配慮者利用施設

その他の記号

- 土のうステーション
- 防災行政無線
- 河川カメラ
- 水位計
- 一般国道
- 主要地方道・一般県道
- 河川



市町村境界線 大字境界線 字境界線

1 2  
5 6

土砂災害凡例

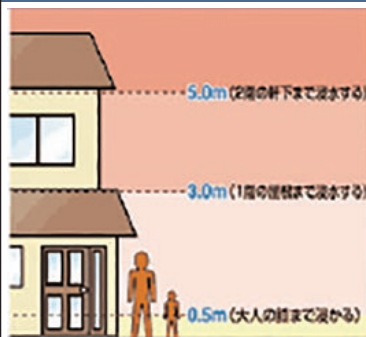
土砂災害  
特別警戒区域

土砂災害  
警戒区域

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



指定緊急避難場所

避難場所

指定避難所

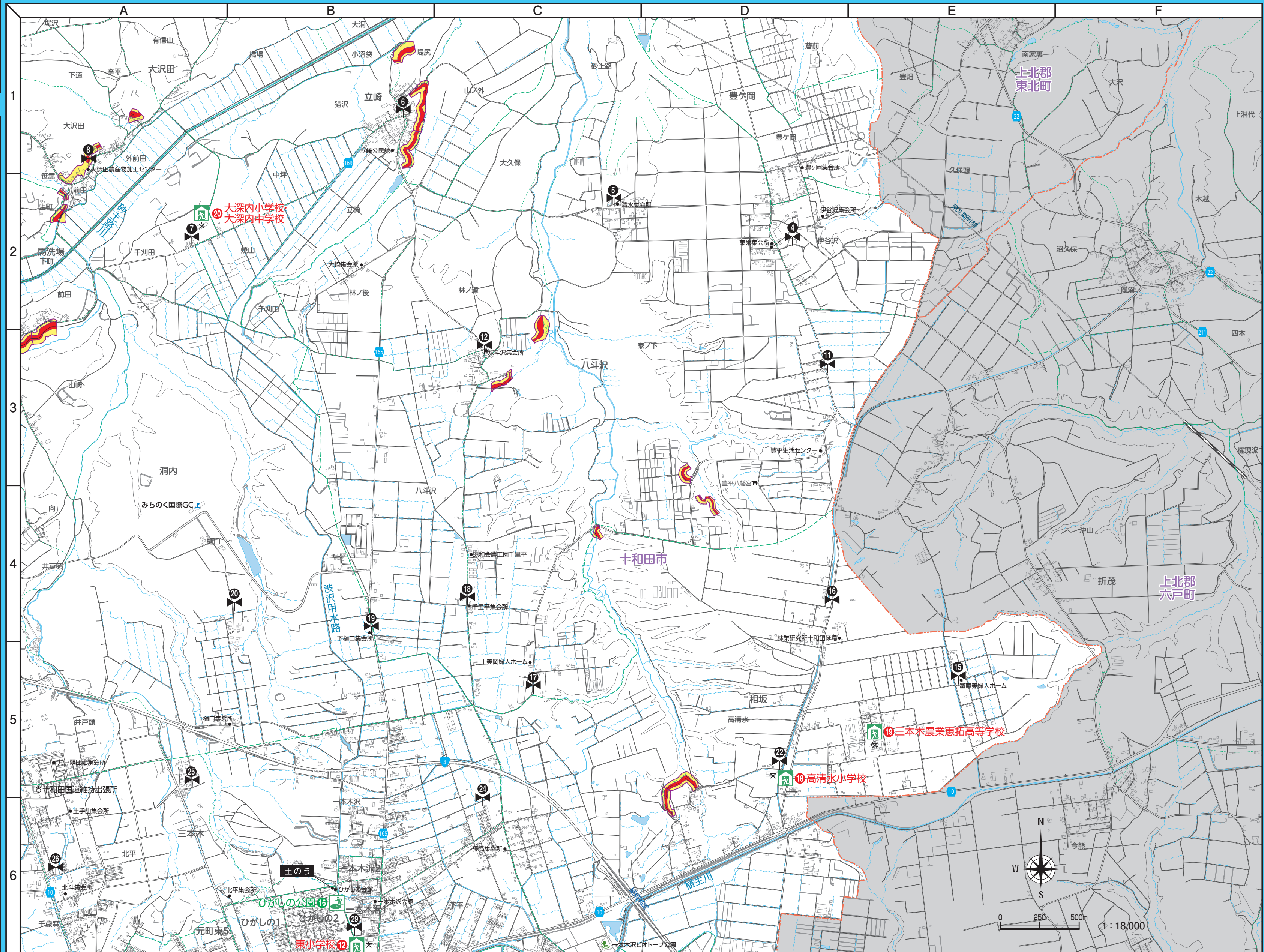
避難所

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

要配慮者利用施設

その他の記号

- 土のう  
ステーション
- 防災行政無線
- 河川カメラ
- 水位計
- 一般国道
- 主要地方道・一般県道
- 河川



市町村境界線 大字境界線 字境界線


3 4

土砂災害凡例

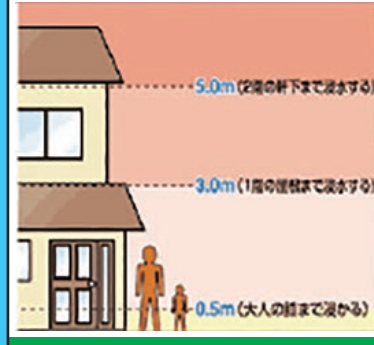
土砂災害  
特別警戒区域

土砂災害  
警戒区域

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



指定緊急避難場所

避難場所

指定避難所

避難所

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

要配慮者利用施設

その他の記号

土のう  
ステーション

防災行政無線

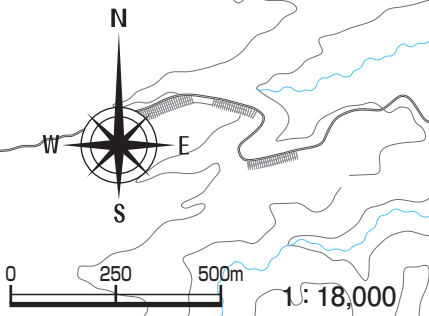
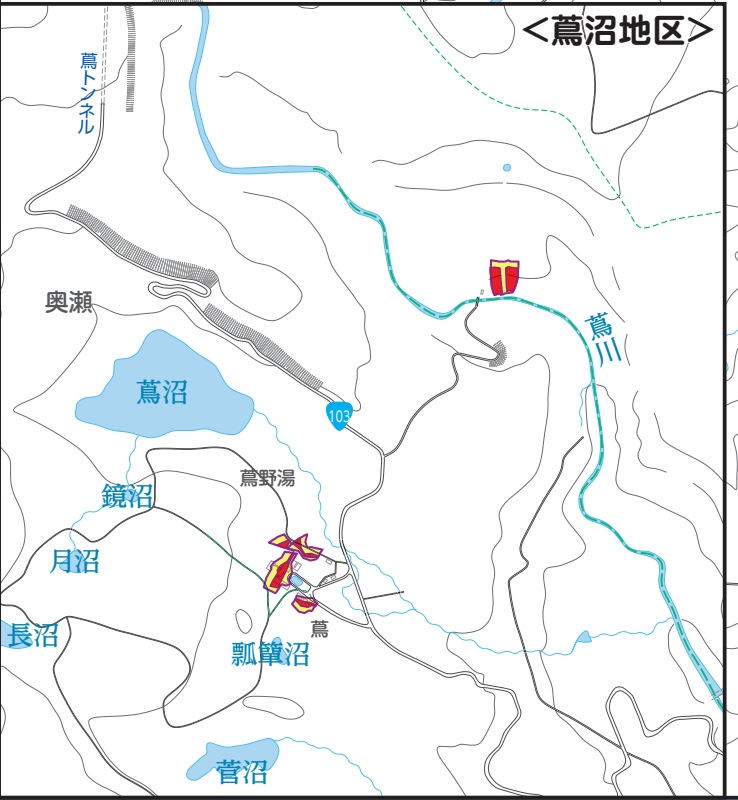
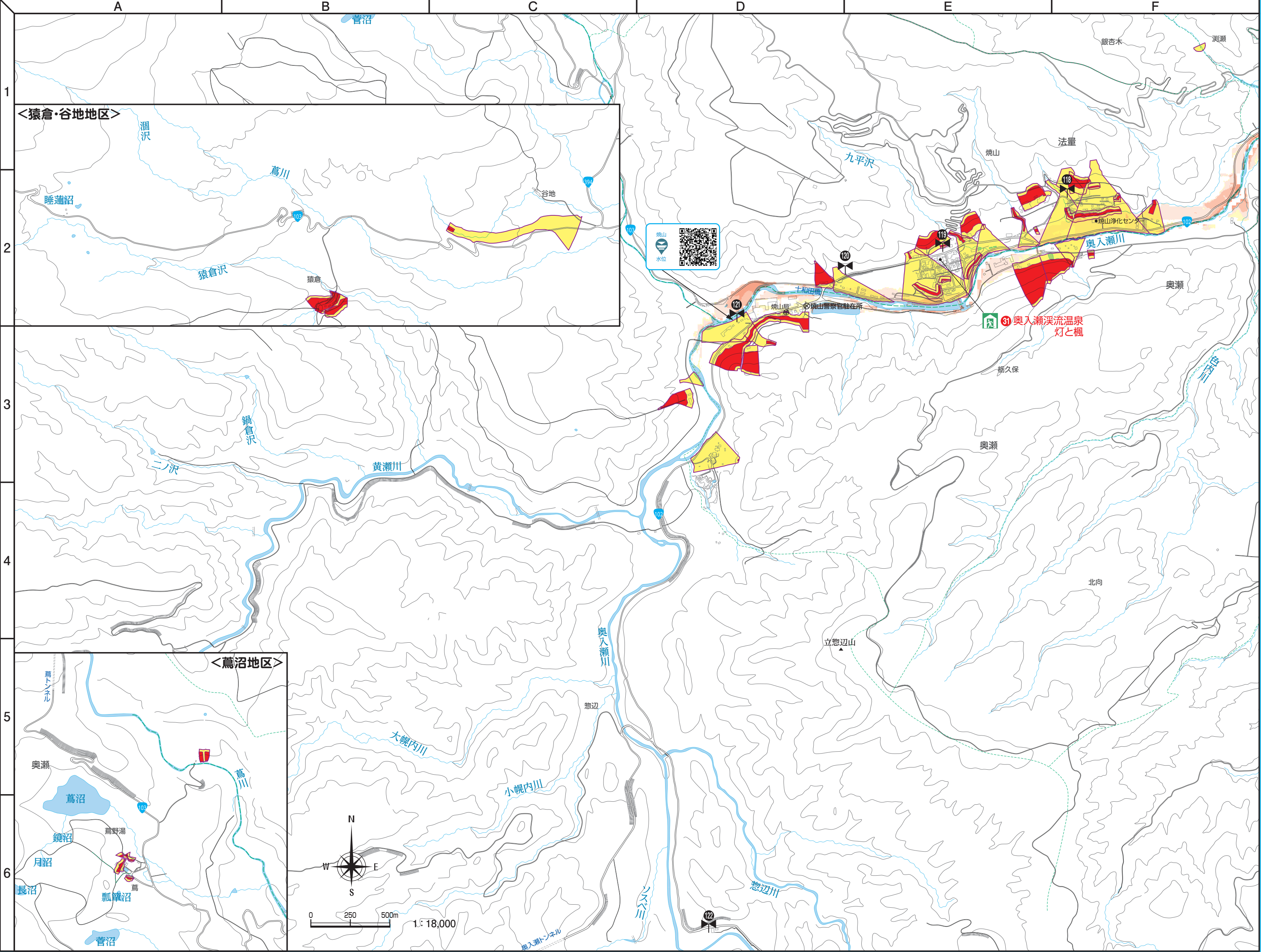
河川カメラ

水位計

一般国道

主要地方道・一般県道

河川



		1
4		5
3		7

**土砂災害凡例**

土砂災害  
特別警戒区域

土砂災害  
警戒区域

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。

**河川浸水想定凡例**

5.0m (2階の軒下まで浸水する)

3.0m (1階の屋根まで浸水する)

0.5m (大人の膝まで浸かる)

**指定緊急避難場所**

避難場所

指定避難所

避難所

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

要配慮者利用施設

**その他の記号**

土のう  
ステーション

防災行政無線

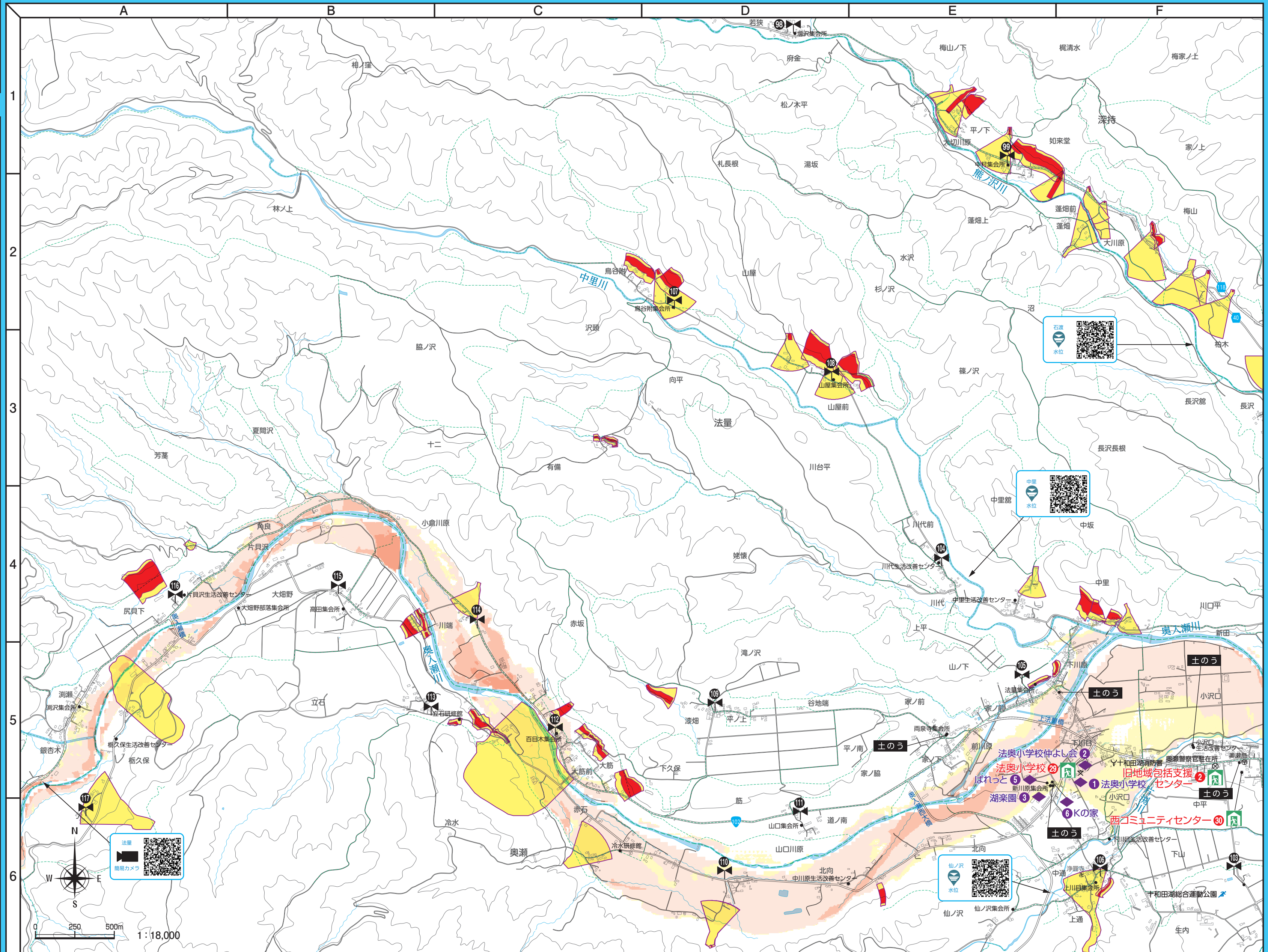
河川カメラ

水位計

一般国道

主要地方道・一般県道

河川



	1	2
4	5	6
	7	8

土砂災害凡例

**土砂災害特別警戒区域**

**土砂災害警戒区域**

詳細は市ホームページをご確認ください。

河川浸水想定凡例

指定緊急避難場所

**避難場所**

**指定避難所**

**避難所**

危険箇所内に位置する要配慮者利用施設

**要配慮者利用施設**

その他の記号

**土のうステーション**

**防災行政無線**

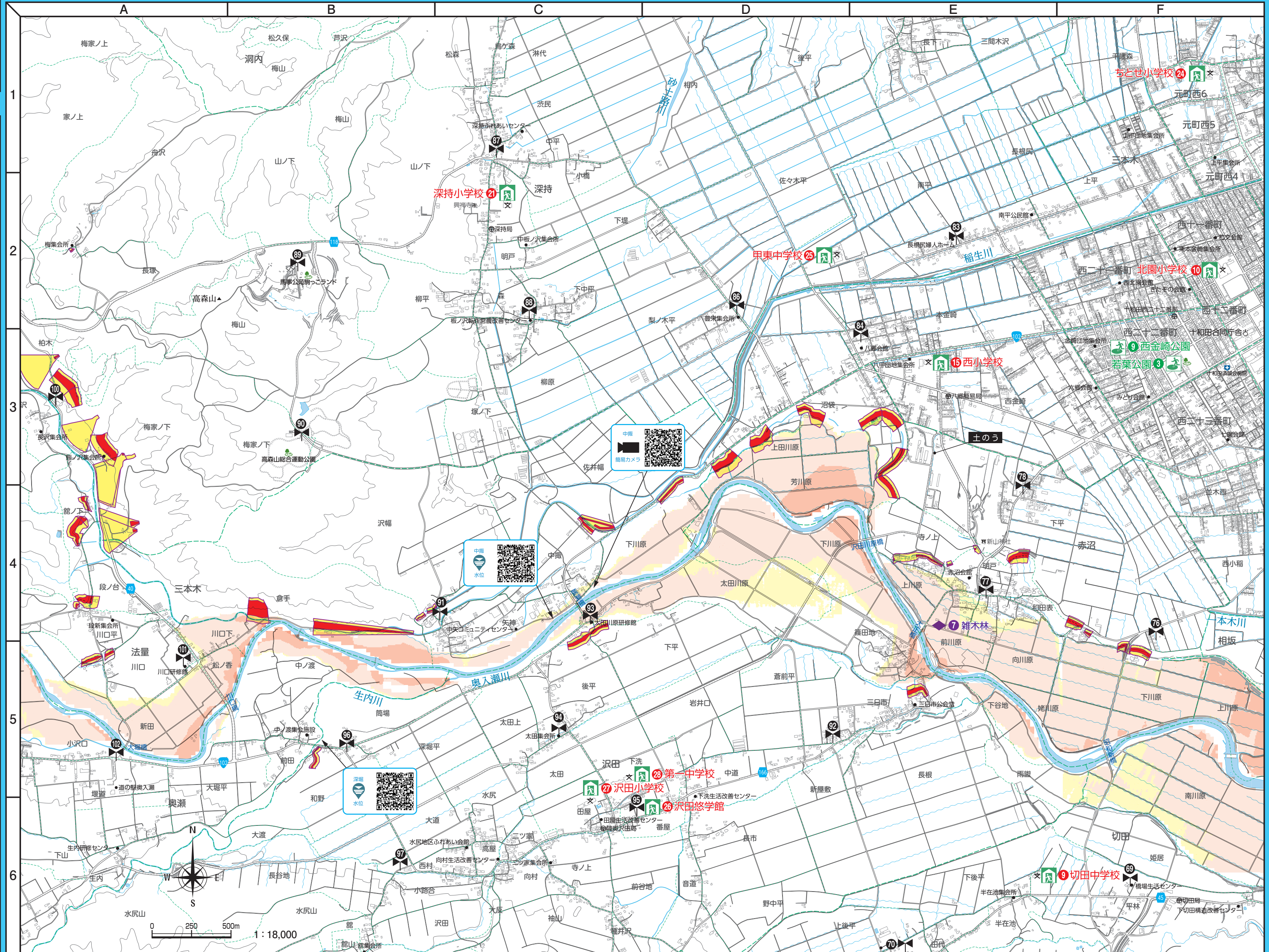
**河川カメラ**

**水位計**

**一般国道**

**主要地方道・一般県道**

**河川**




1	2
5	6
7	8

土砂災害凡例

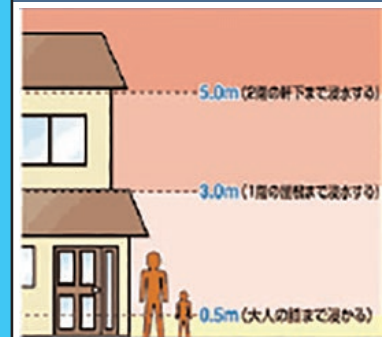
**土砂災害  
特別警戒区域**

**土砂災害  
警戒区域**

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



5.0m (2階の軒下まで浸す)

3.0m (1階の屋根まで浸す)

0.5m (大人の胸まで浸す)

指定緊急避難場所

**避難場所**

**指定避難所**

**避難所**

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

その他の記号

**土のう** 土のう  
ステーション

**防** 防災行政無線

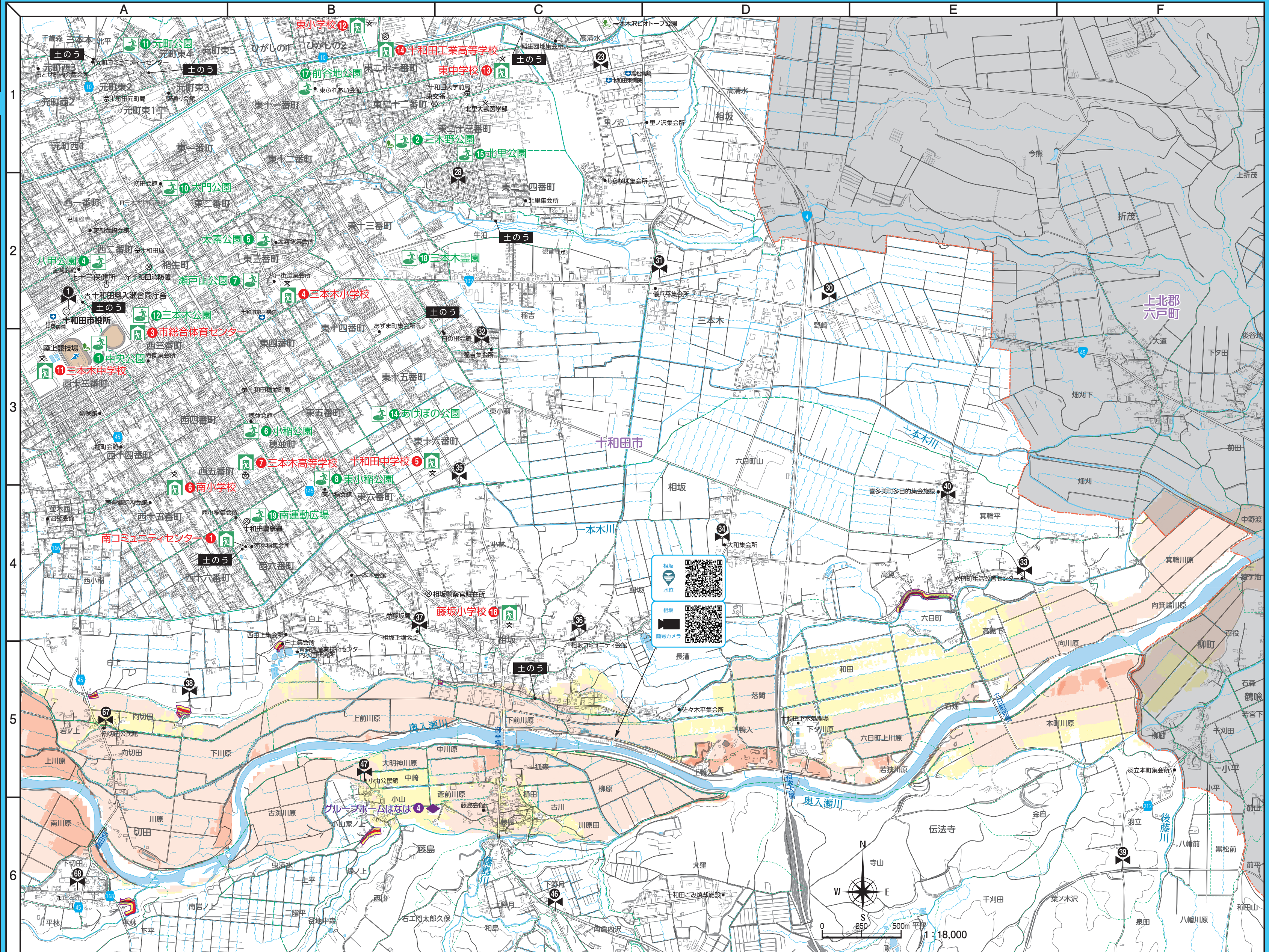
**河** 河川カメラ

**水** 水位計

**4** 一般国道

**165** 主要地方道・一般県道

**河** 河川






4	5	6
	7	8
	9	

土砂災害凡例

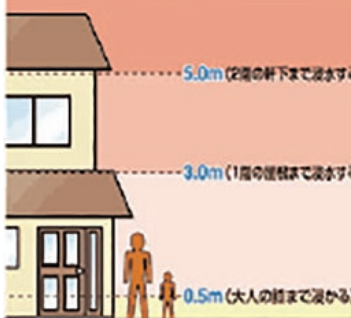
**土砂災害  
特別警戒区域**

**土砂災害  
警戒区域**

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



指定緊急避難場所

**避難場所**

指定避難所

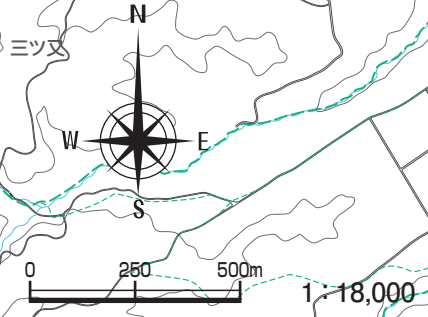
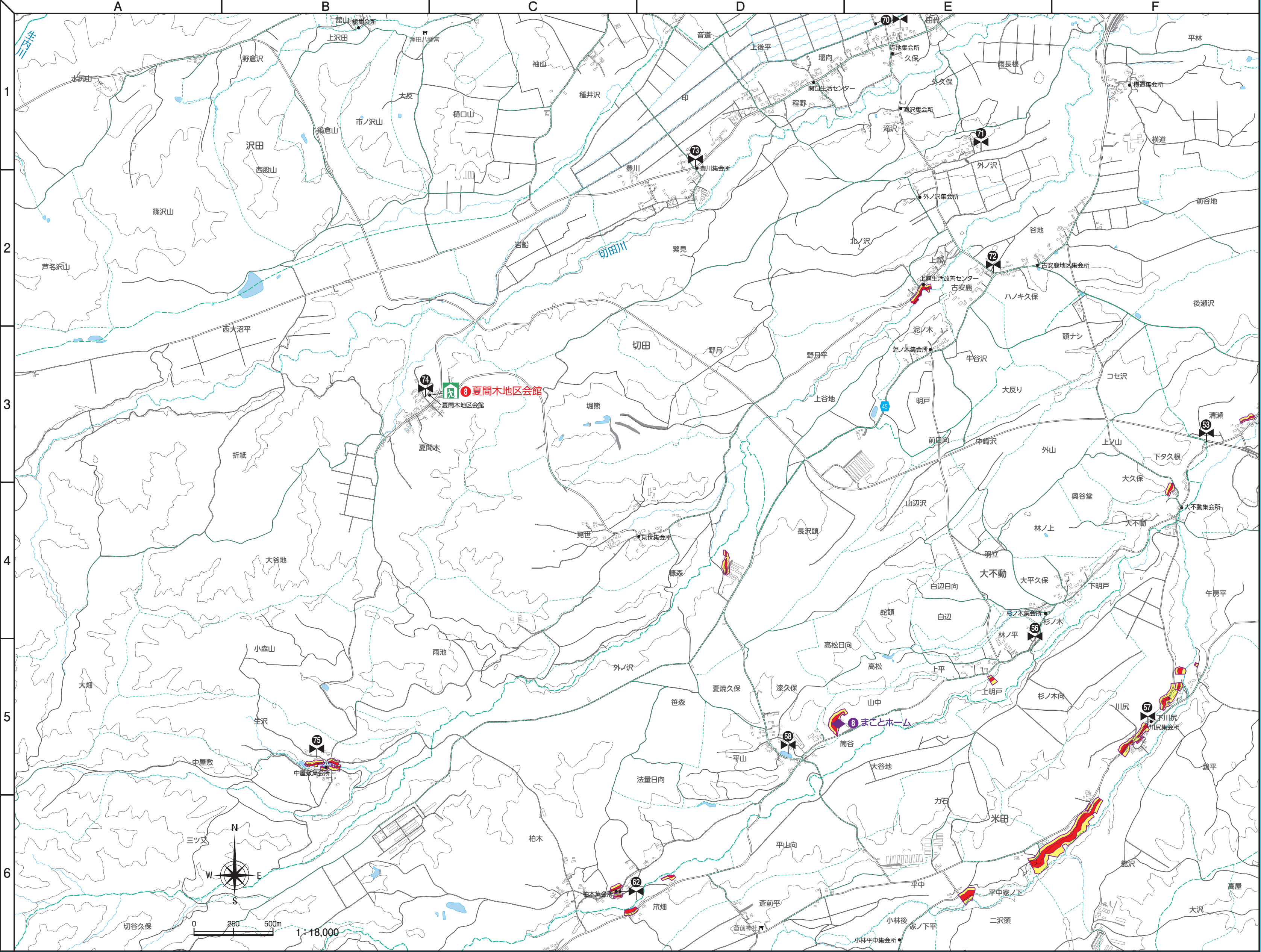
**避難所**

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

**要配慮者利用施設**

その他の記号

- 土のう ステーション
- 防災行政無線
- 河川カメラ
- 水位計
- 一般国道
- 主要地方道・一般県道
- 河川




5	6
7	8
9	

土砂災害凡例

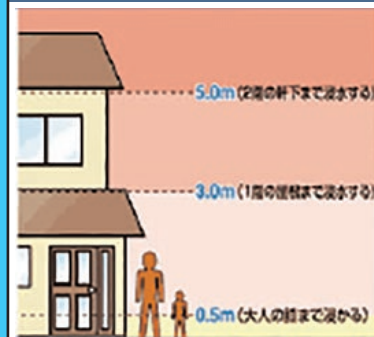
**土砂災害  
特別警戒区域**

**土砂災害  
警戒区域**

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



5.0m (2階の軒下まで浸す)

3.0m (1階の屋根まで浸す)

0.5m (大人の胸まで浸す)

指定緊急避難場所

 避難場所

指定避難所

 避難所

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設

 要配慮者利用施設

その他の記号

 土のう  
ステーション

 防災行政無線

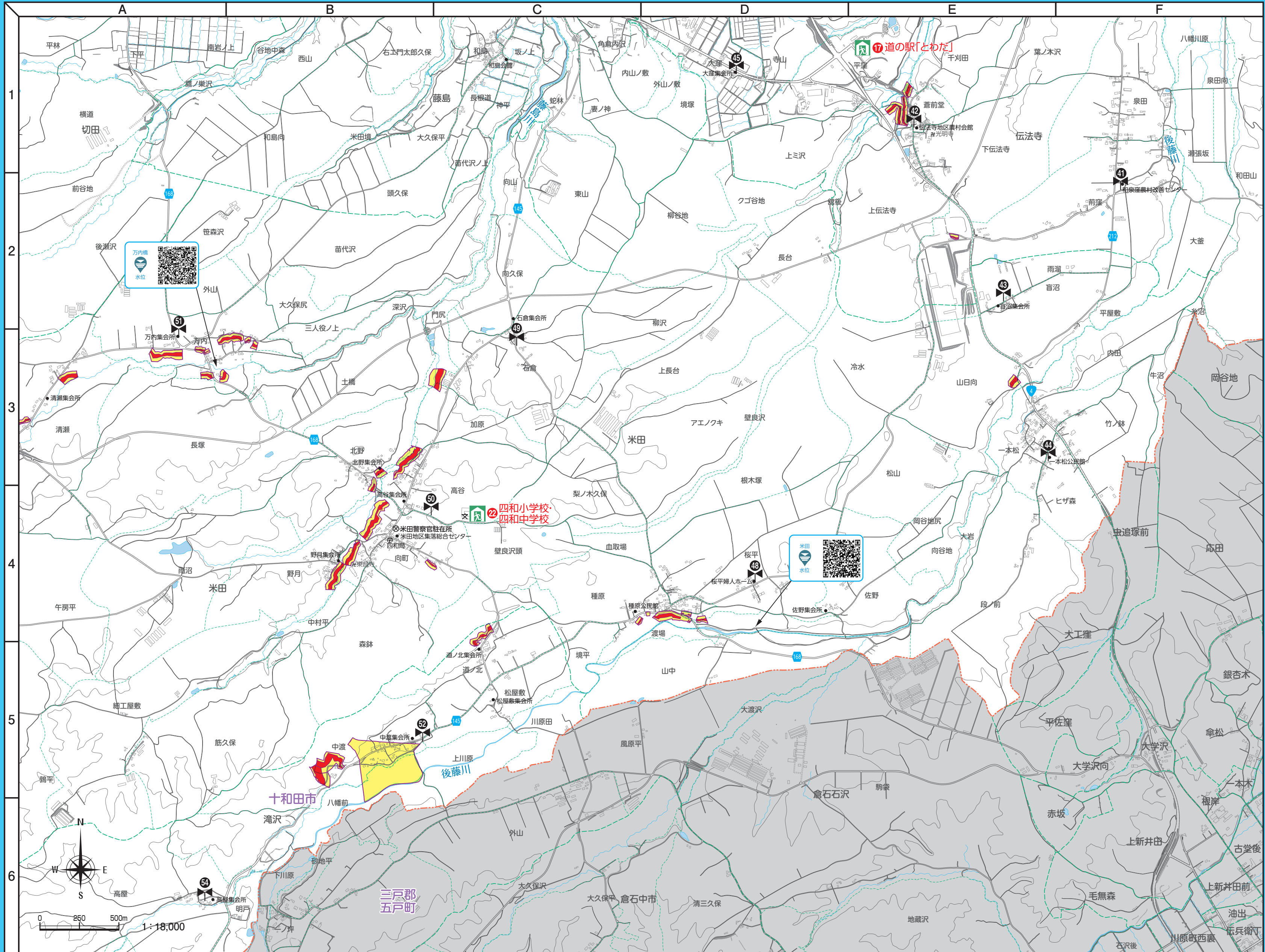
 河川カメラ

 水位計

 一般国道

 主要地方道・一般県道

 河川



0 250 500m

1:18,000

高屋

明戸

7

8

9

土砂災害凡例

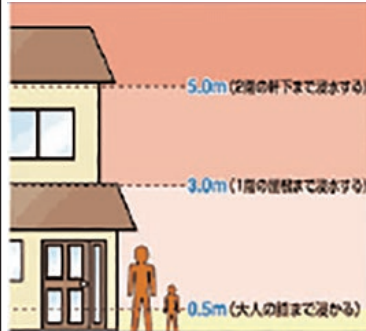
土砂災害  
特別警戒区域

土砂災害  
警戒区域

詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



指定緊急避難場所



避難場所

指定避難所



避難所

危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設



要配慮者利用施設

その他の記号

土のう  
ステーション



防災行政無線



河川カメラ



水位計



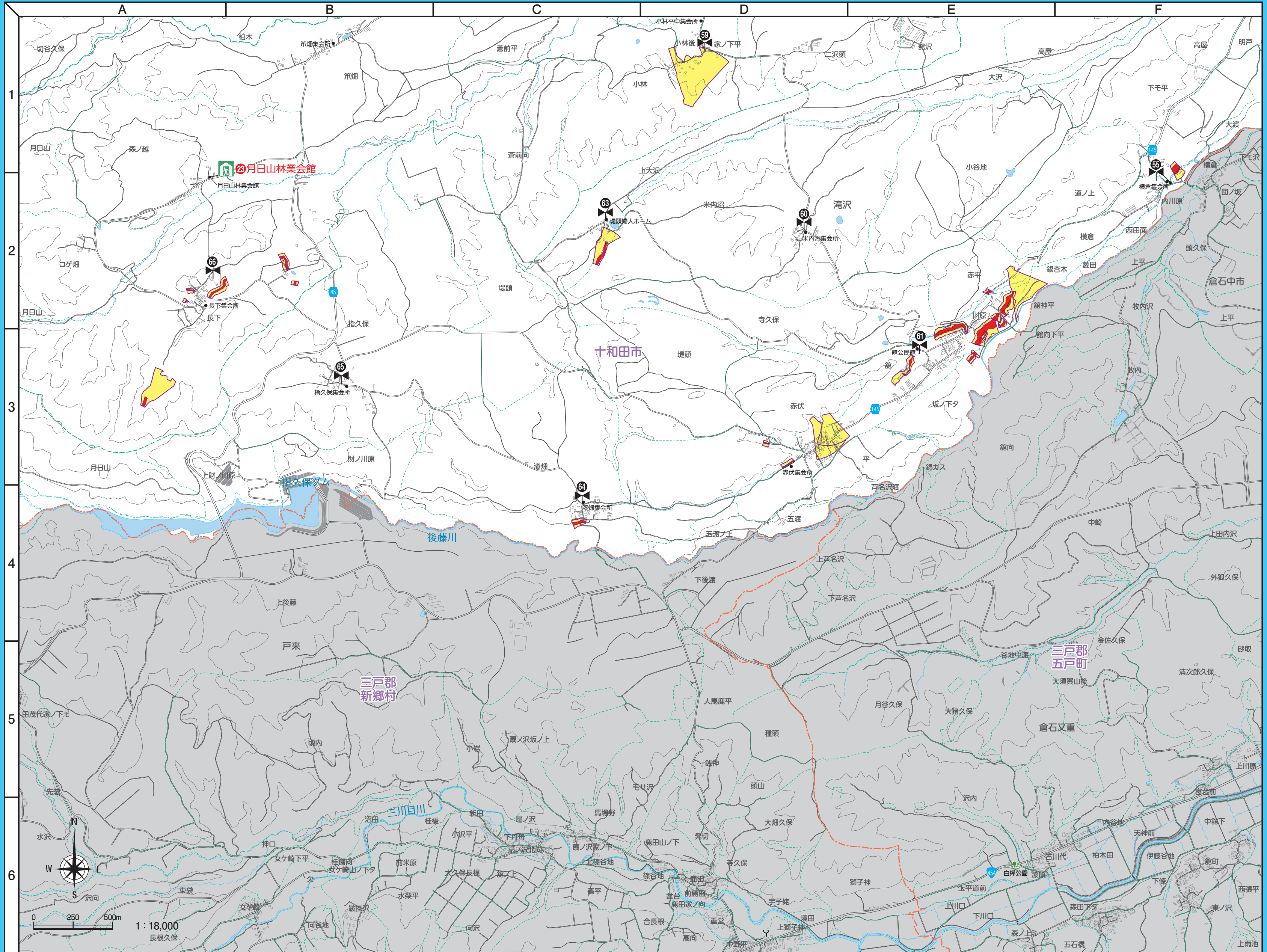
一般国道



主要地方道・一般県道



河川



10

土砂災害凡例

土砂災害  
特別警戒区域



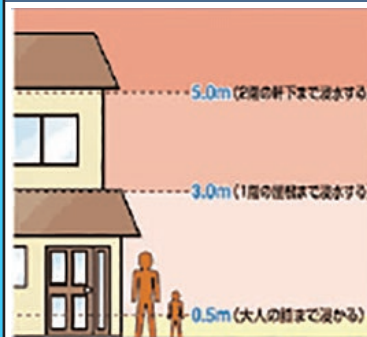
土砂災害  
警戒区域



詳細は  
市ホームページを  
ご確認ください。



河川浸水想定凡例



指定緊急避難場所



指定避難所

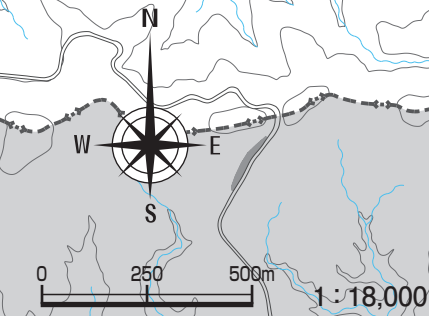
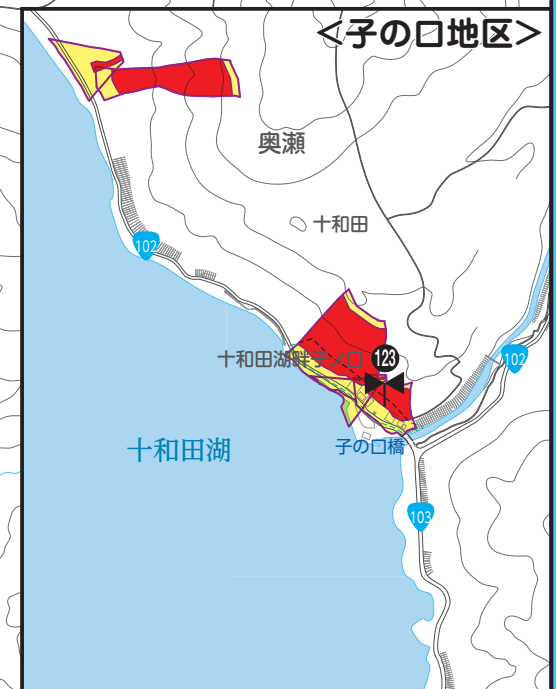
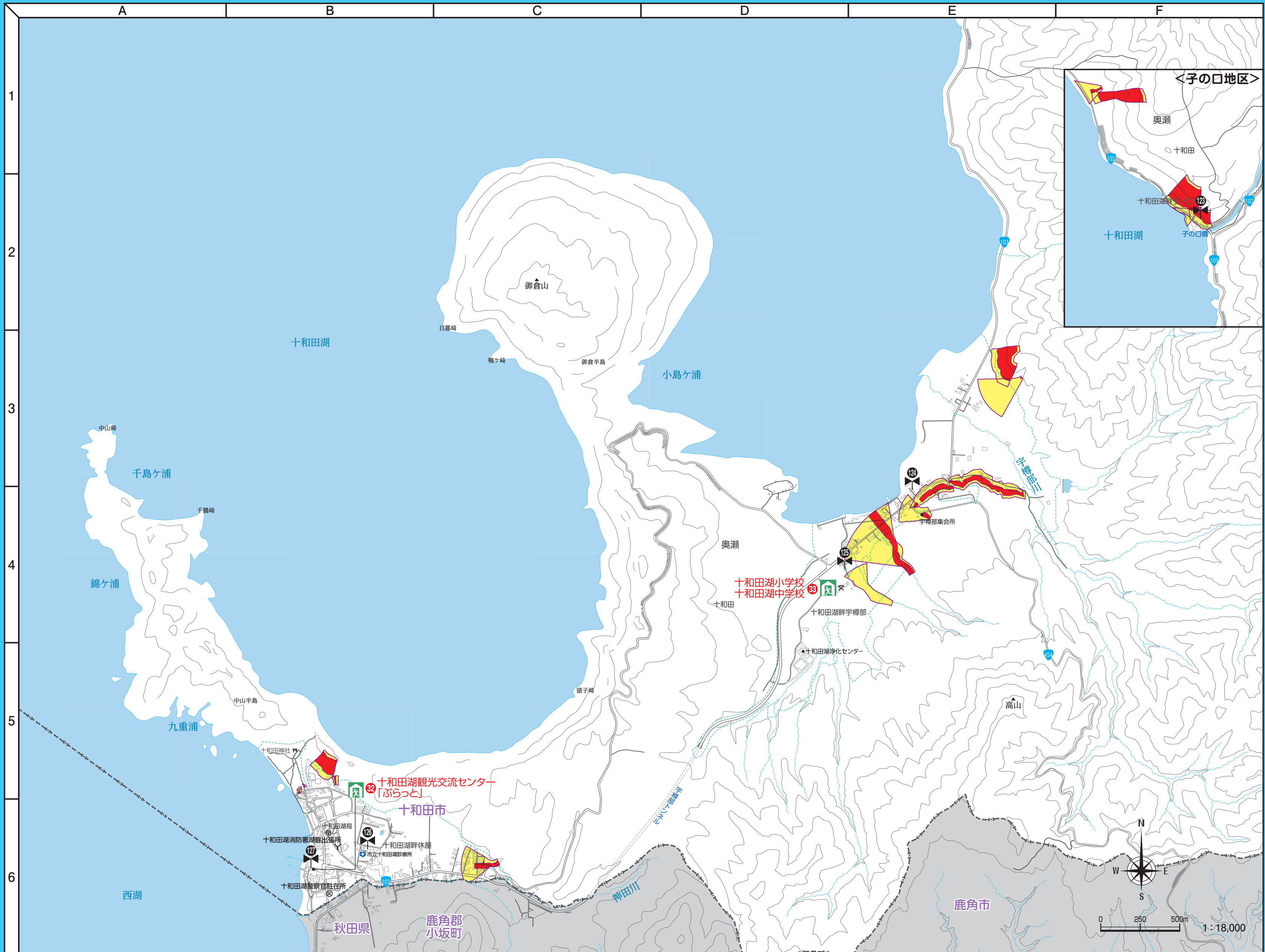


危険箇所内に位置する  
要配慮者利用施設



その他の記号

- 土のう ステーション
- 防災行政無線
- 河川カメラ
- 水位計
- 一般国道
- 主要地方道・一般県道
- 河川



## 震度の目安

震度の違いでどのようになるの？

※この階級による震度(気象庁震度階級)の発表は、平成8年10月より実施  
※下記は「気象庁震度階級関連解説表」を基に作成

地震の揺れと被害想定



- ほとんどの人が驚く
- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる



- 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる
- 棚の食器類や本が落ちることがある
- 固定していない家具が移動することがある



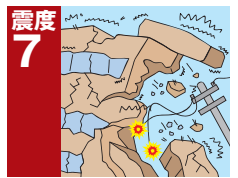
- 物につかまらなさと歩くことが難しい
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある



- 立っていることが困難になる
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下することがある



- 這わないと動くことができない
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体崩壊が発生することがある



- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くこともある
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れることが多い

## 地震が発生したら

### 屋内にいた場合

#### 家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

#### デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

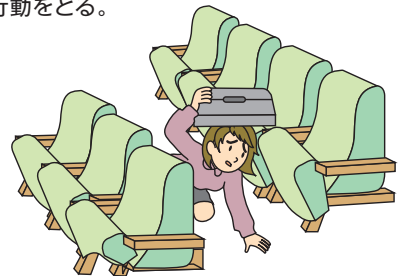


#### 集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

#### 劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



### 屋外にいた場合

#### 路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。

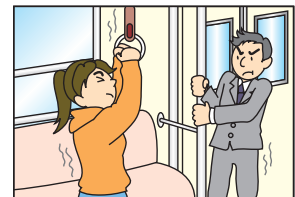


#### 車を運転中

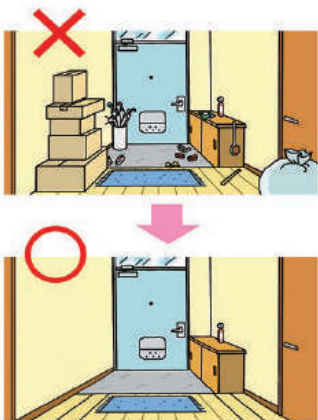
- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。

#### バスなどの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



## 家の中の防災対策 日頃から心がける。



### 玄関や通路に物を置かない

玄関や通路に物を置くと、避難時に邪魔になったり、逃げ道を塞いでしまう可能性があります。玄関や通路は、散らかさないようにしましょう。

### 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る

窓ガラスが飛散するのを防ぐために飛散防止フィルムなどを貼りましょう。

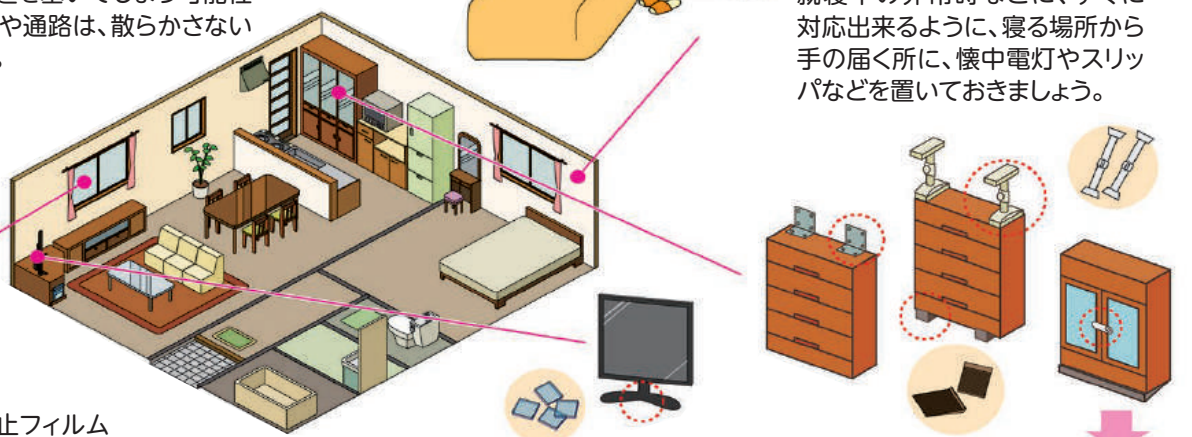
※大地震では、昭和56年以前の古い耐震基準で建てられた住宅は、倒壊する危険性が高くなります。

### 寝室には倒れやすい家具を置かない

就寝中の地震では、倒れる家具を避けることができません。出来るだけ置かないか、倒れづらい低い家具にしましょう。

### 近くに防災品を置く

就寝中の非常時などに、すぐに対応出来るように、寝る場所から手の届く所に、懐中電灯やスリッパなどを置いておきましょう。



### 家具の転倒やガラス飛散防止の対策を

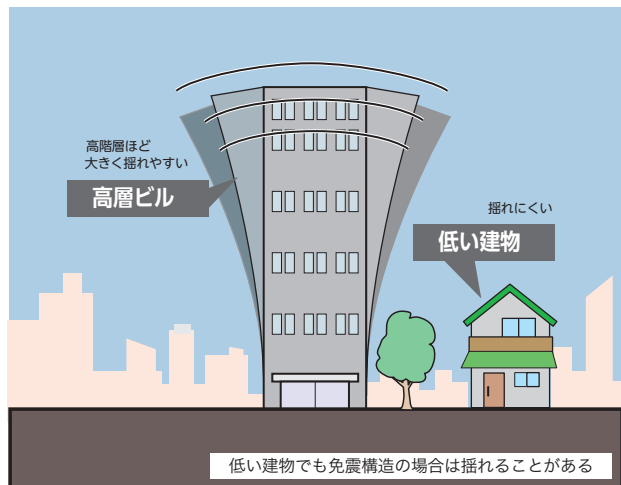
地震による家具の転倒を予防する対策をしておきましょう。様々な種類の転倒防止グッズが販売されています。また、ガラスの飛散防止の対策も。



## 長周期地震動ってなに？

## 長周期地震動とは

大きな地震で生じる周期の長いゆっくりとした大きな揺れを長周期地震動といいます。高いビルでの長周期地震動による揺れの大きさは震度では分からないため「長周期地震動階級」という目安で表します。震源から数百km離れたところでも、高層ビルを長時間にわたって大きく揺らすことがあります。



階級	揺れの状況
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。</li> <li>●キャスター付き家具等が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。</li> <li>●キャスター付き家具等が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</li> <li>●キャスター付き家具等がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。</li> <li>●ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。</li> </ul>

気象庁ホームページ：長周期地震動について



## 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

## 北海道・三陸沖後発地震注意情報とは

三陸沖や北海道の太平洋側の沖合(日本海溝・千島海溝沿い)の領域では、マグニチュード7クラスの地震が発生した後に、さらに大きな地震(後発地震)が発生した事例があります。

実際に後発地震が発生する確率は低いものの想定震源域とその周辺で、マグニチュード7以上の地震が発生した場合には大規模地震の発生可能性が通常よりも相対的に高まっているとして、気象庁は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発信し、併せて内閣府が防災対応の呼びかけを行い、後発地震への注意を促します。

## 注意情報が発信された場合の防災対応について

情報が発信された場合は、ただちに避難する必要はありませんが、地震発生後1週間程度は社会経済活動を継続した上で、平時よりも巨大地震の発生に注意し、地震への備えを徹底しましょう。

家具の固定や安全な避難場所・避難経路の確認など、日ごろからの地震への備えの再確認に加え、揺れを感じたら、直ちに避難できるよう準備をしましょう。



## 情報の留意事項

- ・後発地震の発生可能性は、世界的事例を踏まえても百回に1回程度で、1週間のうちに必ず後発の大規模地震が発生するとは限りません。
- ・注意情報の発表がないまま、突発的に巨大地震が発生することを想定し、日頃から地震への備えを行いましょう。
- ・国や自治体から事前避難は呼びかけませんが、地震発生から1週間程度は地震の発生に注意しましょう。

気象庁ホームページ：北海道・三陸沖後発地震注意情報について



## 緊急地震速報(警報)はこんな時に発表されます!

発表条件	震度5弱以上を予想した場合 または 長周期地震動階級3以上を予想した場合
対象地域	震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域

長周期地震動階級の基準だけで発表することはまれですが、人命に係る重大な災害が起こるおそれがあるため、警報の基準に追加しています。ガタガタという強い揺れ(大きな震度)でも、ゆらゆらというゆっくりとした大きな揺れ(長周期地震動)でもとるべき行動に違いはありません。猶予時間が限られることから、緊急地震速報を見聞きしたらまずは身を守る行動をとり、揺れが収まるまで行動を続けましょう。

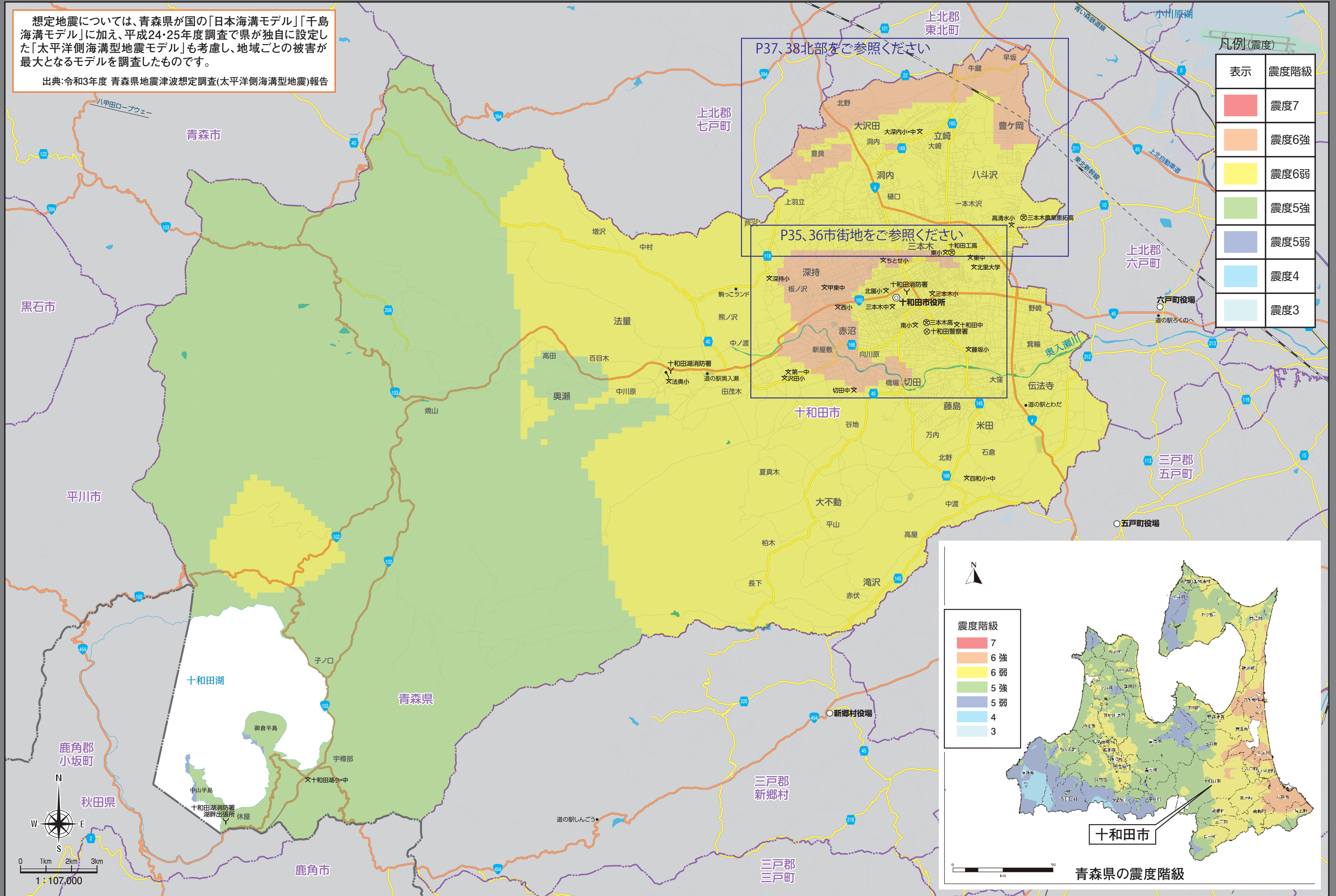
気象庁ホームページ：緊急地震速報について



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

想定地震については、青森県が国の「日本海溝モデル」「千島海溝モデル」に加え、平成24・25年度調査で県が独自に設定した「太平洋側海溝型地震モデル」も考慮し、地域ごとの被害が最大となるモデルを調査したものです。

出典:令和3年度 青森県地震津波想定調査(太平洋側海溝型地震)報告

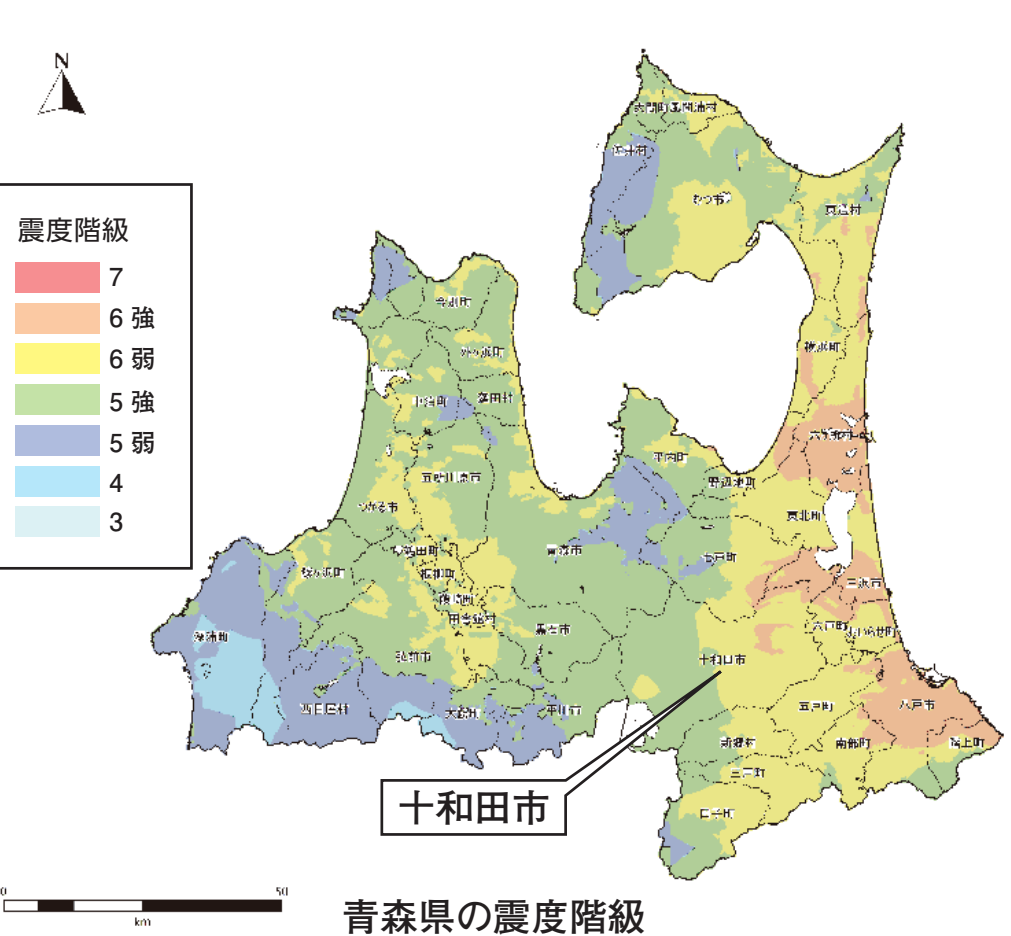


凡例(震度)

表示	震度階級
<span style="color: red;">■</span>	震度7
<span style="color: orange;">■</span>	震度6強
<span style="color: yellow;">■</span>	震度6弱
<span style="color: lightgreen;">■</span>	震度5強
<span style="color: lightblue;">■</span>	震度5弱
<span style="color: cyan;">■</span>	震度4
<span style="color: palecyan;">■</span>	震度3

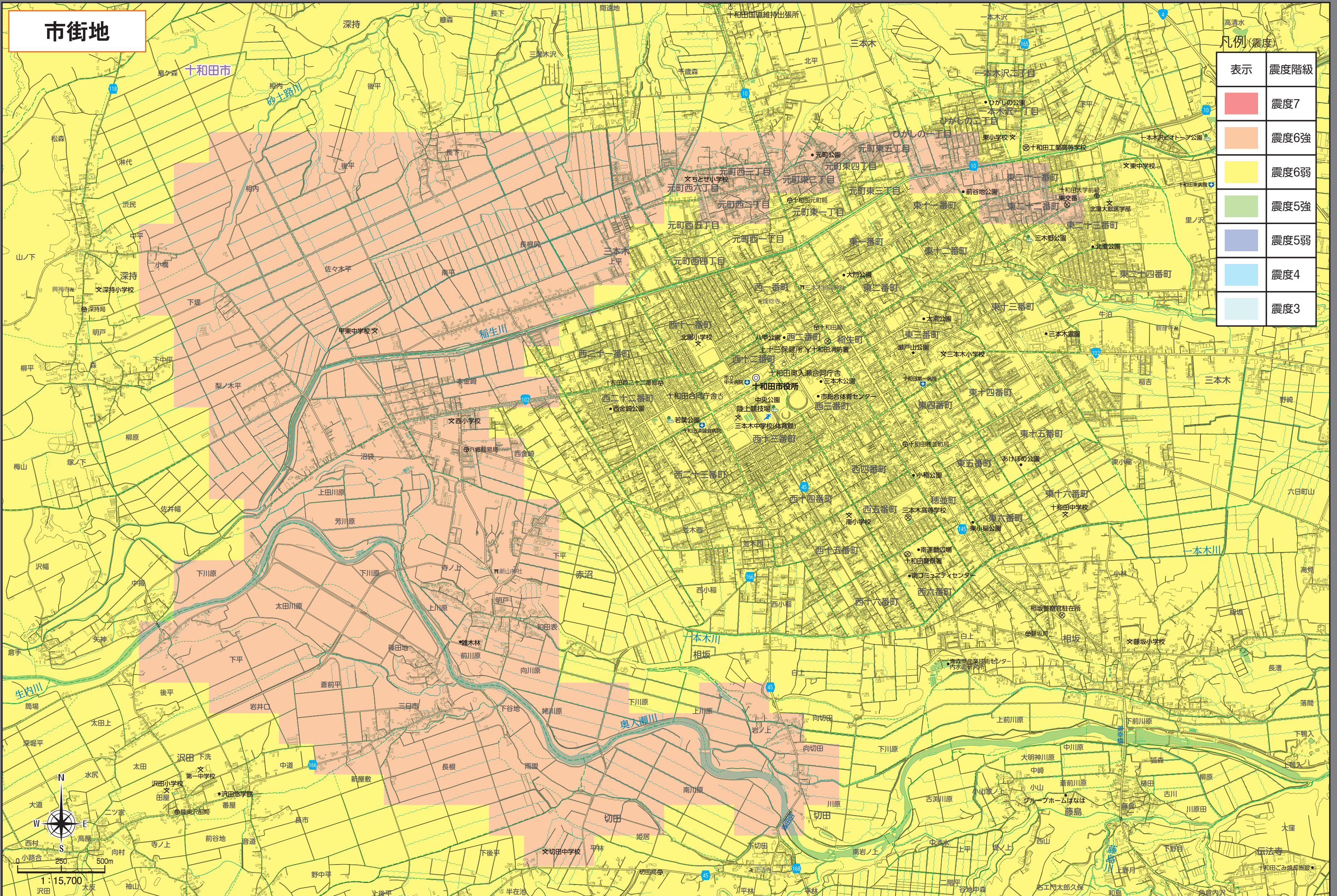
P37、38北部をご参照ください

P35、36市街地をご参照ください



地震による揺れ予測マップ(震度分布図)

市街地

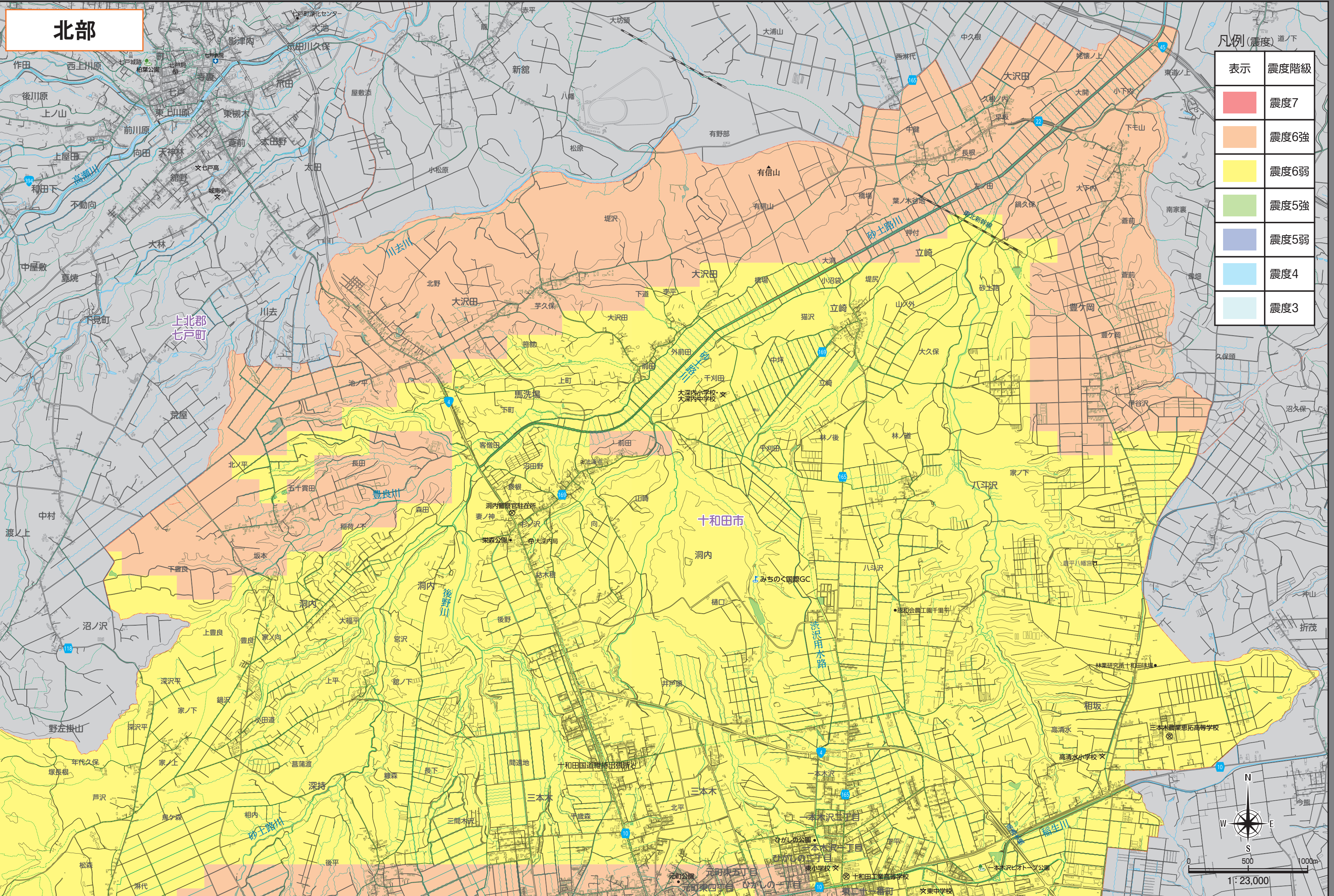


凡例(震度)

表示	震度階級
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#d62728;"></span>	震度7
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ff7f0e;"></span>	震度6強
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffbb78;"></span>	震度6弱
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#2ca02c;"></span>	震度5強
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#17becf;"></span>	震度5弱
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#aec7e8;"></span>	震度4
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#9ecae1;"></span>	震度3



地震による揺れ予測マップ(震度分布図)



北部

凡例(震度)

表示	震度階級
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ff0000;"></span>	震度7
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffa500;"></span>	震度6強
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#ffff00;"></span>	震度6弱
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#90ee90;"></span>	震度5強
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#add8e6;"></span>	震度5弱
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#add8e6;"></span>	震度4
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:#add8e6;"></span>	震度3

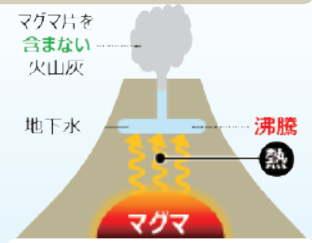


# 11 火山対策

## 火山噴火と噴火のときに起きる現象

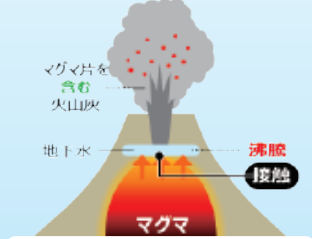
噴火には色々なタイプがあります。発生する可能性のある噴火現象を紹介します。

### どんな噴火があるの？



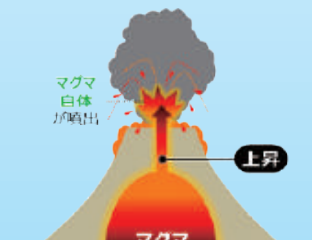
水蒸気噴火

マグマの熱によってあたためられた地下水が一気に沸騰し、周囲の岩石を吹き飛ばす爆発現象です。西暦2014年の御嶽山噴火がその代表例です。



マグマ水蒸気噴火

上昇してきたマグマが地下水にふれると爆発が起こります。これがマグマ水蒸気噴火です。



マグマ噴火

地下から上昇してきたマグマが、そのまま地表に噴き出す現象です。マグマの化学的な性質によって様々な噴火を起こします。

### 噴火すると、どのようなことが起きるの？

飛んでくる・降ってくる現象		流れてくる現象	
<b>大きな噴石</b>  <p>御嶽山(長野県/岐阜県)の例 爆発的な噴火によって火口から吹き飛ばされる岩は、火口から大砲の弾のように弾道を描いて飛び散ります。西暦2014年の御嶽山噴火で多くの方が犠牲になったのも大きな噴石が原因です。</p>	<b>火砕流・火砕サージ</b>  <p>三宅島(2000年) 数百度という高温の火山灰や軽石と火山ガスが、なだれのように火山の斜面を流れ下る現象を火砕流といいます。自動車よりも速く、破壊力が大きい、もっとも危険な火山現象です。</p>	<b>降灰後の土石流</b>  <p>三宅島(2000年) 噴火によって噴出した火山灰がたまっているところに、大雨が降ると土石流や泥流が発生することがあります。これらの土石流や泥流は、高速で斜面を流れ下り、下流に大きな被害をもたらします。</p>	
<b>降下火砕物</b>  <p>桜島(2013年) 噴火によって空高くあがった噴煙から火山灰や軽石が降ってくる現象です。遠くまで風に流されて降下するので、社会生活に深刻な影響を及ぼすことがあります。</p>	<b>溶岩流・溶岩ドーム</b>  <p>雲仙普賢岳(1995年) マグマが火口から流れ出したものを溶岩流といいます。ねばりけの強いマグマは火口の上にそのまま盛り上がり、溶岩ドームになります。溶岩ドームが熱いまま崩れると、火砕流が発生することがあります。</p>	<b>融雪型火山泥流</b>  <p>セントヘレンズ火山(1982年) 雪がたくさんある火山で、火砕流などが発生すると、その熱によって斜面の雪が融かされ大量の水ができます。この水が周辺の土砂や岩石をまきこんで流れだすと火山泥流になります。高速で速くまで流れ、大規模な災害を引き起こすことがあります。</p>	

現象の解説は気象庁HPを参考に編集しました

## 火山に関する主な発表情報(気象庁)

噴火時や火山活動が活発な時に発表(主な発表情報を示しています)	
情報名	概要
噴火速報	●登山者や火山周辺の住民に、噴火したことを迅速にお伝えする情報です。
火山の状況に関する解説情報	●火山性地震や微動の回数、噴火等の状況や警戒事項について、必要に応じて定期的または臨時に解説する情報です。
降灰予報	●噴火後に、どこに、どれくらいの火山灰が降るのかについて、降灰の厚さを3階級に区分した予報を発表します。 ●噴火後速やかに発表される「降灰予報(速報)」とその後に発表される「降灰予報(詳細)」があります。また、噴火警報が発表されているときは「降灰予報(定時)」が3時間毎に発表されます。
平常時から発表	
情報名	概要
噴火警報・予報(噴火警戒レベル)	●噴火警報は、生命に危険を及ぼす火山現象が予想される場合に、警戒が必要な範囲を示して発表します。 ●噴火警戒レベルが運用されている火山は、噴火警戒レベル(1~5の5階級)が発表されます。
火山活動解説資料	●火山の活動の状況や警戒事項について、定期的または必要に応じて臨時に解説する資料です。
その他	●上記以外にも、平常時から「週間火山概況」、「月間火山概況」「地震・火山月報(防災編)」など火山に関する情報が定期的に発表されています。

気象庁が発表する火山に関する情報(上記以外を含む)

気象庁が発表する火山に関する情報や資料(上記以外を含む)は、以下のWebページで見ることができます。

気象庁ホーム>知識・解説>火山

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html)



## 登山中に噴火した場合の対応

### もし、登山中に噴火に遭遇したら

頭部や背中を保護しながら、急いで火口から離れましょう。

- 上空から高速で落下する噴石で死傷する可能性があります。登山中に噴火に遭遇したら頭部を守るためにヘルメットをかぶりましょう。ヘルメットがない時はリュックなどで頭部や背中を保護しながら避難しましょう。
- 避難は火口から遠ざかる方向へ急いで離れましょう。突発的に噴火した直後は、飛来する噴石から身を守るために建物や大きな岩陰などに入りましょう。
- 火山灰や火山ガスを吸い込まないように、タオルを口に当てながら避難しましょう。(火山ガスが溜まりやすい谷間や窪地は避ける)
- 突発的な噴火に備えて、逃げる場所や身を隠せる場所をみつけながら登山しましょう。

2014年9月に発生した突発的な噴火(御嶽山)



火口に向けた壁が噴石で被災した山小屋(御嶽山)



小さな噴石が直撃してへこんだコッヘル(御嶽山)

### 火山登山者向けの情報

気象庁の以下のWebページでは、火山登山者向けの情報提供内容を見ることができます。

火山登山者向けの情報提供ページ(東北地方)

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_2.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_2.html)



## 火山灰が降ってきたときの対応

### 火山灰による生活への影響と対応

- 火山灰が積もると、目や気管支など身体への悪影響、火山灰の巻き上げによる視界不良、自動車の走行性能の低下、電柱の碍子部のショートによる停電、水質悪化による給水停止、排水溝に火山灰が流れ込んだ場合は下水道の詰まり、農作物への影響など様々な生活への影響が生じます。
- 火山灰が降ってくるときは、身体を守るための防塵マスクと防護メガネ(ゴーグル)、携帯電話や持ち歩く小物を保護するビニール袋などを準備しましょう。また、帰宅時に玄関の前で服に着いた火山灰をはらうなど、火山灰が家の中に入り込まないように工夫しましょう。家の屋根や雨樋の除灰をするときは高所から落下しないよう注意しましょう。庭や道路の火山灰を清掃する場合は、火山灰が道路の側溝に入り込まないように注意しましょう。



少量の降灰が湿って滑りやすくなった路面(新燃岳)



火山灰が付着した柑橘類(新燃岳)



火山灰が積もった屋根の除灰(新燃岳)

### 火山灰に備えるための情報

防災科学技術研究所の以下のWebページでは、火山灰に備えるためのしおり等を掲載しています。

火山灰による健康被害 [https://ivhnn.org/images/pamphlets/preparedness_jap_low.pdf](https://ivhnn.org/images/pamphlets/preparedness_jap_low.pdf)



## 普段からの噴火への備え

### 噴火時に危険が予想されるエリアを確認しておきましょう

- 火山防災マップなどにより、噴火時に起きる現象と危険が予想されるエリアを確認しておきましょう。

### 噴火に関する情報の入手先を確認しておきましょう

- 火山が噴火した場合に気象庁や自治体(県・市)から発表される情報の種類を確認しておきましょう。
- 情報の入手方法(インターネット、ラジオ、テレビなど)を確認しておきましょう。

### 避難先や避難の仕方を確認しておきましょう

- 我が家の避難先(避難所等)や家族の連絡先を確認しておきましょう。避難先までの移動が困難になることも予想して、自宅近くの頑丈な建物等についても確認しておきましょう。
- 噴火して降灰がある場合は、視界不良や路面が滑りやすくなり、交通の渋滞が予想されます。また、降灰の影響で停電が発生する場合もあります。車やバス、鉄道等の交通機関での移動が困難になることも予想して、家族で避難の仕方を確認しておきましょう。

### 万が一に備えて、非常時の持ち出し品等を準備しておきましょう

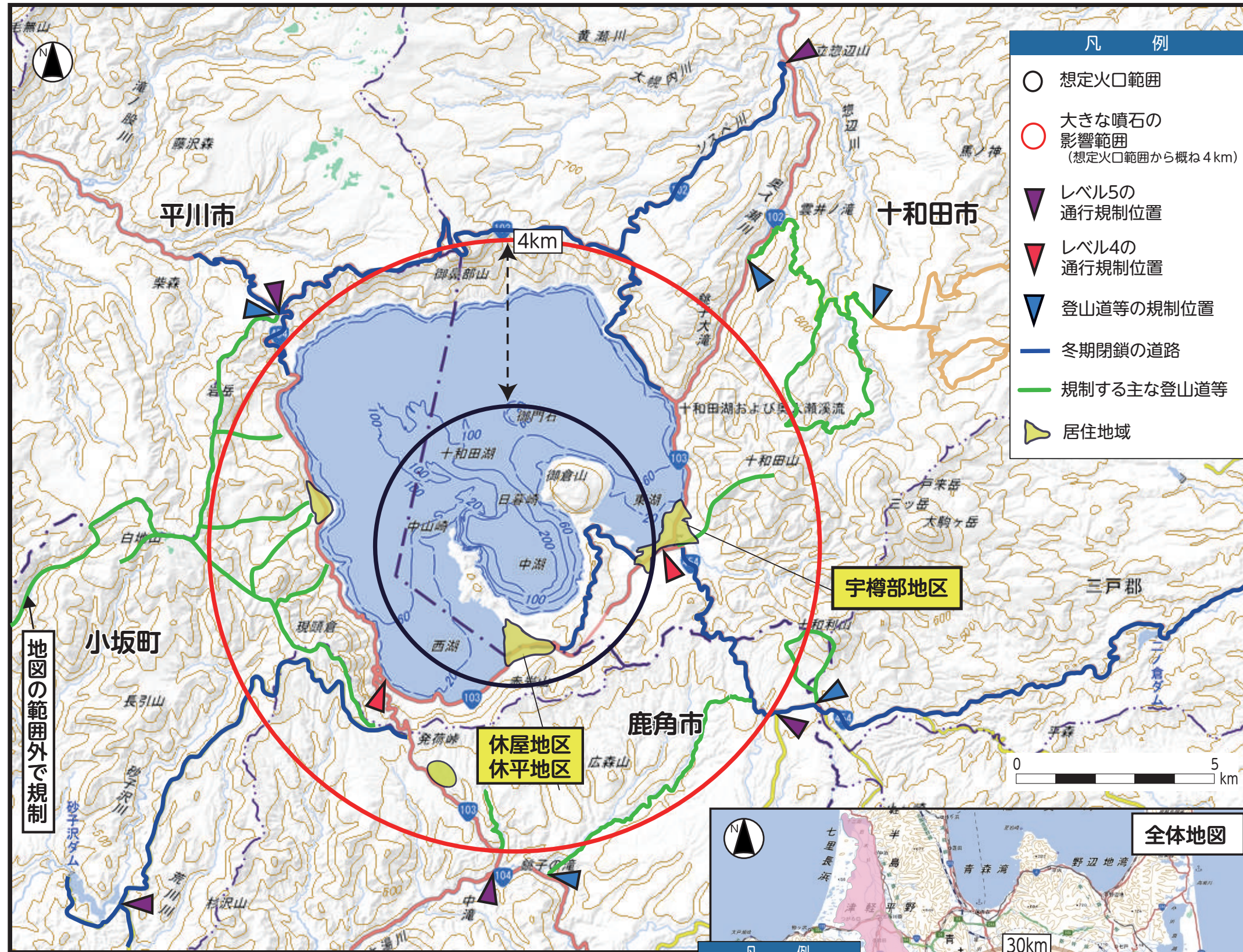
- 必要な備蓄品や非常時の持ち出し品を準備しておきましょう。
- 火山から見て風下側にある地域では、火山から遠く離れていても降灰による生活への影響が予想されます。降灰の影響を軽減するために、火山灰から目や気管支を保護するための備えをしておきましょう。

# 12 十和田火山防災マップ(小規模噴火の場合)

- 十和田の噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。
  - 火山活動に高まりが認められた場合、火山の状況に関する解説情報(臨時)を発表します。
  - 噴火の可能性が高まった場合は、噴火警戒レベル4または5の噴火警報を発表します。
- ※11月から4月は冬期閉鎖となる道路があるため、避難に時間を要することが想定されます。そのため、早めの行動が重要です。



## ■十和田 噴火の影響が及ぶ可能性のある範囲と規制範囲



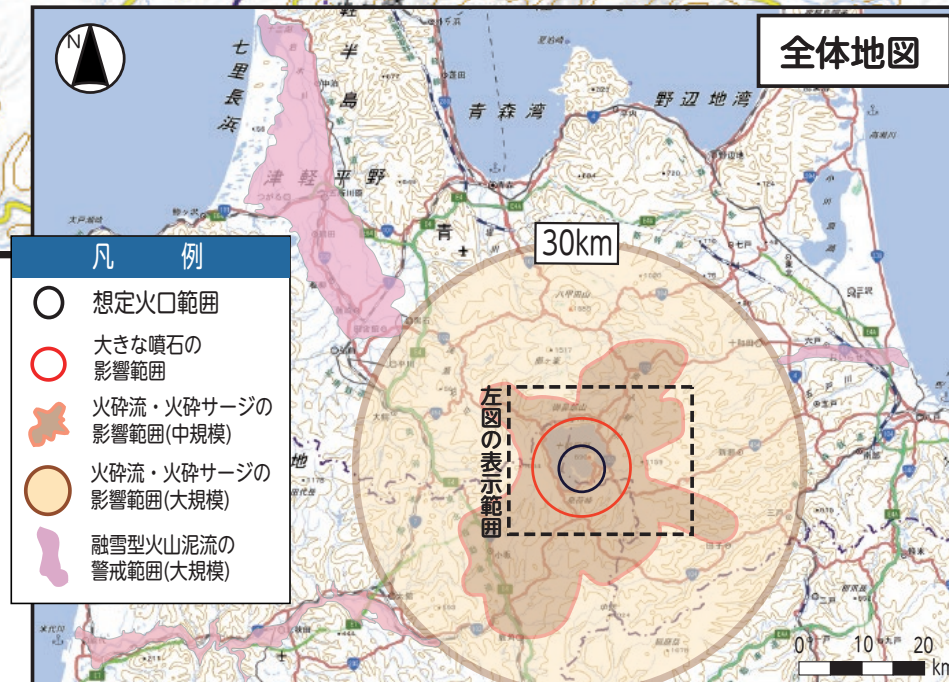
この図は、国土地理院「地理院地図」を使用して作成しています。

■この図は、十和田火山防災協議会資料として公表された火山災害想定影響範囲図(平成30年1月作成)に基づき作成しています。

※想定火口範囲内の居住地域の宇樽部地区(十和田市)と休屋地区(十和田市)、休平地区(小坂町)は、他の居住地域より早期に避難等の対応が必要となります。

■十和田の噴火警戒レベルは、十和田火山防災協議会において協議、作成されました。各レベルにおける具体的な規制範囲等については、地域防災計画等で定められています。

- 凡例
- 想定火口範囲
  - 大きな噴石の影響範囲
  - 火砕流・火砕サージの影響範囲(中規模)
  - 火砕流・火砕サージの影響範囲(大規模)
  - 融雪型火山泥流の警戒範囲(大規模)



## 避難所と避難経路について

	名称	住所
①	沢田悠学館	大字沢田字下洗21-1
②	西コミュニティセンター	大字奥瀬字中平70-3
③	旧地域包括支援センター	大字奥瀬字中平61-6

※避難所は、状況に応じて①～③の施設順に開設します。

## ◎避難経路 (火口位置が中湖の場合の例)

- 冬期以外の場合
  - (1)子ノ口地区 十和田方面へ (国道102号 奥入瀬溪流沿い、青樺山付近)
  - (2)宇樽部地区 新郷・五戸方面へ (国道454号 迷ヶ平方面)
  - (3)休屋地区 秋田方面へ (国道103号) (秋田県道2号大館十和田湖線)
- 冬期の場合
  - (1)子ノ口地区 十和田方面へ (国道102号 奥入瀬溪流沿い)
  - (2)宇樽部地区 十和田方面へ (国道102号 奥入瀬溪流沿い)
  - (3)休屋地区 秋田方面へ (国道103号)

※詳細は、十和田市HPをご確認ください。



## 十和田の噴火警戒レベル

令和4年3月運用開始

種別	名称	対象範囲	レベル(キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報(居住地域)又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	【5-3】 ●火砕流・火砕サージが火口から概ね30kmの範囲の居住地域に被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫。積雪期には融雪型火山泥流が海岸部までの河川流域の居住地域に到達、あるいは切迫。 過去事例 約6200年前の噴火(中振軽石噴火) 915年のクライマックスの噴火(毛馬内火砕流)
			4(高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難及び住民の避難の準備等が必要。 想定火口範囲内の居住地域での避難等が必要。	【5-2】 ●火砕流・火砕サージが火口から概ね20km(最大23km)の範囲の居住地域に被害を及ぼす噴火が発生あるいは切迫。 過去事例 915年の一回あたりの噴火(中規模噴火)
警報	噴火警報(火口周辺)又は火口周辺警報	居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	危険な地域への立入規制等。 住民は今後の火山活動の推移に注意。	【5-1】 ●大きな噴石が火口から4km程度まで飛散するなど居住地域に被害を及ぼす噴火が発生あるいは切迫。 過去事例 なし
			2(火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。 住民は今後の火山活動の推移に注意。	【4-2】 ●火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が火口から概ね4kmの範囲を超えた居住地域に到達する噴火の可能性。 過去事例 なし
予報	噴火予報	火口内等	1(活火山であることに留意)	火山活動が高まりがみられる。今後の活動の推移によってはレベルを引き上げる可能性がある。 火山活動は静穏。	状況に応じて、想定火口範囲内の居住地域での高齢者等の要配慮者の避難等が必要。 住民は通常の生活。	【4-1】 ●大きな噴石が火口から4km程度まで飛散するなど居住地域に影響を及ぼす噴火の可能性。 過去事例 なし

※火山活動が高まりがみられ、今後の活動の推移によってはレベルを引き上げる可能性がある、または判断に迷う場合には火山の状況に関する解説情報(臨時)を発表する。

※想定火口範囲内の居住地域は、他の居住地域より早期に避難等の対応が必要。

※火口とは、火山ハザードマップの想定する噴火場所のことをいう。

※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。

■各レベルにおける具体的な規制範囲等については各市町の地域防災計画等で定められています。

■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧いただけます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

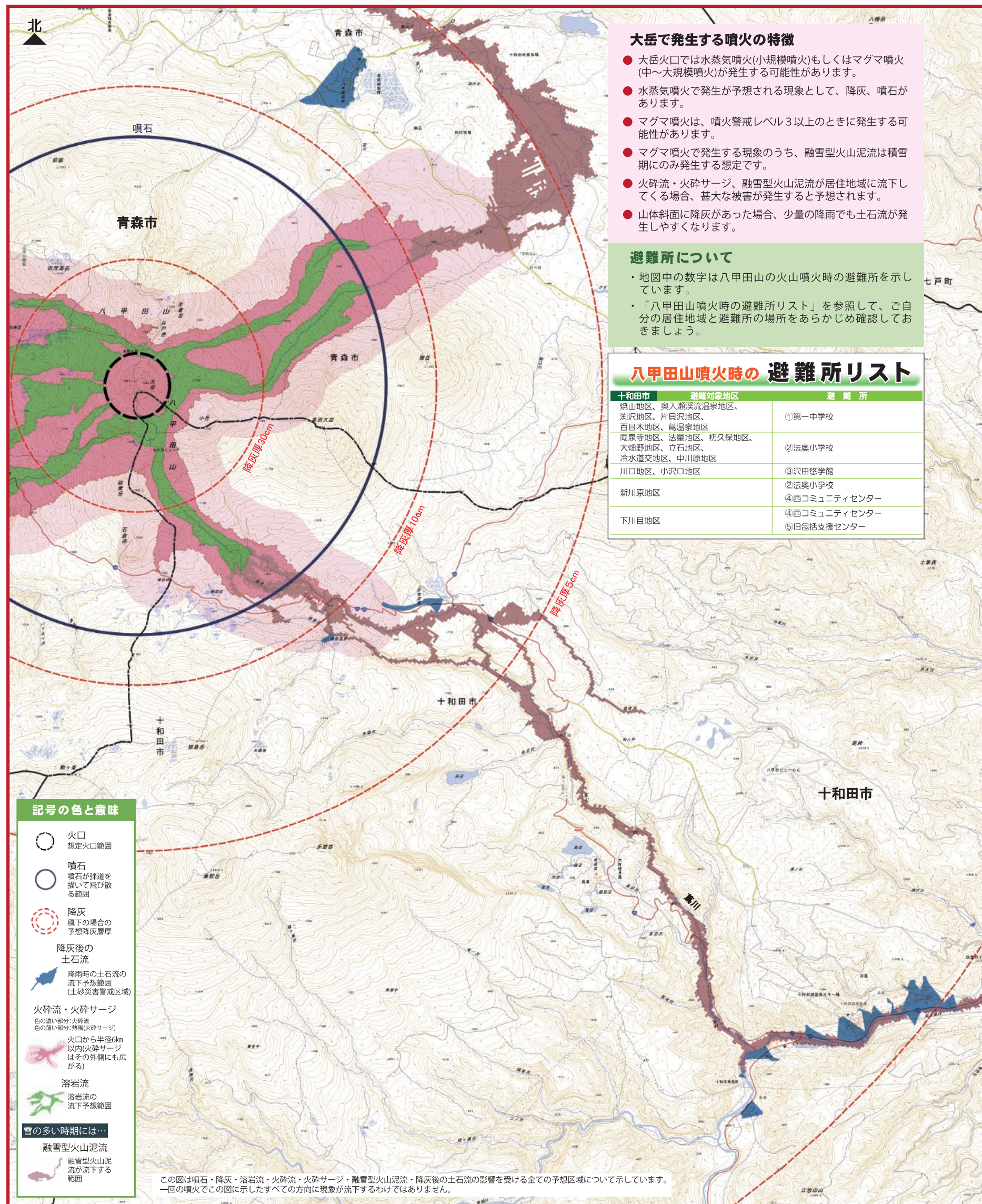


# 13 八甲田山火山防災マップ

## マグマ噴火の場合（大岳 大規模噴火）

大規模噴火：噴火警戒レベル3以上の段階で発生する現象と影響範囲

火砕流・火砕サージはレベル3以上で発生  
融雪型火山泥流はレベル4以上で、かつ、積雪期にのみ発生

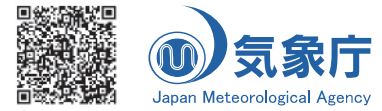


# 八甲田山の噴火警戒レベル

令和元年7月運用開始

種別	名称	対象範囲	レベル(キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別 警戒 レベル	噴火警戒報(居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5(避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●融雪型火山泥流が居住地域に到達、あるいは切迫している。 <b>過去事例</b> 大岳火口 約4800年前の噴火、約4200年前の噴火、約3100年前の噴火
			4(避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	●融雪型火山泥流が居住地域に到達するような噴火の発生が予想される。 <b>過去事例</b> なし
警戒 レベル	噴火警戒報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3(入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止・入山規制など危険な地域への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難、要配慮者の避難準備等が必要。 住民は通常的生活。	●大岳火口から、大きな噴石と溶岩流が概ね3km、火砕流・火砕サージが概ね6kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●大岳火口から、大きな噴石が概ね3km、溶岩流が概ね2km、火砕流・火砕サージが概ね5kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 ●積雪期は、大岳火口から概ね6kmの範囲内に融雪型火山泥流が到達、またはその可能性。 <b>過去事例</b> 1世紀頃の噴火
			2(火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難等が必要。 住民は通常的生活。	●大岳火口から、大きな噴石が概ね2kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 <b>過去事例</b> なし ●地獄沼火口から、大きな噴石が概ね1kmの範囲内に影響を及ぼす噴火の発生、またはその可能性。 <b>過去事例</b> 地獄沼火口 13～14世紀の噴火、15～17世紀の噴火(2回)
予報	噴火予報	火口内等	1(活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制、特定地域の避難準備等が必要。	●火山活動は静穏。 ●状況により火口内に影響する程度の火山灰や火山ガス等が噴出する可能性。

※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。  
 ※特定地域とは、八甲田山の想定火口に近い所に位置する温泉等の施設が含まれる地域を指す。早期に避難等の対応が必要になることがある。  
 ※火口が特定できない場合は、大岳火口及び地獄沼火口の両方の火口からの噴火を想定して噴火警戒レベルを発表する。  
 ※各レベルにおける具体的な規制範囲等については各市町の地域防災計画等で定められています。  
 ※最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧いただけます。  
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



# 14 わが家の防災メモ

**避難場所** 家族のみんながどこに避難するのか決めておきましょう  
避難場所までの道順を確認しておきましょう

わが家の避難場所
家族の集合場所 (避難場所で会えなかった場合)

**家族の連絡先** もしものために家族の連絡方法・連絡先を決めておきましょう

名前	会社・学校等	電話番号	生年月日	血液型	備考

**緊急連絡先** 遠隔地の親戚・友人等

名前	電話番号	名前	電話番号

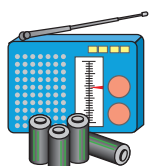


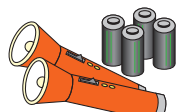


# 15 非常時持出品と備蓄品

災害が発生し、避難する場合はもちろん、避難の必要がない場合でも、電気や水道、ガスなどが使用できない場合もあります。万が一の場合に備えて、家族で話し合い、災害時の非常時持出品や備蓄品を準備しておきましょう。

**非常時持出品(例)** 準備ができているか、チェック☑しましょう。

**非常時備蓄品(例)**

災害復旧までの数日間(最低3日)生活できる準備ができているか、チェック☑しましょう。

<b>携帯ラジオ</b>  <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<b>救急医薬品</b>  <input type="checkbox"/> 処方薬 <input type="checkbox"/> 絆創膏 <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 風邪薬 <input type="checkbox"/> 胃腸薬 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤 <input type="checkbox"/> 消毒薬	<b>貴重品</b>  <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 免許証 (出来れば一人にひとつ) <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)	<b>懐中電灯</b>  <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意)
<b>非常食品</b> <b>火を通さずに食べられるもの、食器など</b>  <input type="checkbox"/> カンパン <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター <input type="checkbox"/> 粉ミルク・離乳食 <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ <input type="checkbox"/> 水筒 <input type="checkbox"/> 箸・スプーン等	<b>その他</b>  <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器 <input type="checkbox"/> ヘルメット・軍手 <input type="checkbox"/> 布テープ <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ラップフィルム <input type="checkbox"/> 防寒具(時季による) <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 防災マップ(本書)		

<b>飲料水</b>  <input type="checkbox"/> 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に) <input type="checkbox"/> 貯水したポリタンクなど	<b>非常食品</b>  <input type="checkbox"/> お米(アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料など <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)
<b>燃料</b>  <input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<b>その他</b>  <input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど <input type="checkbox"/> 調理器具(なべ・やかんなど) <input type="checkbox"/> バケツ・各種アウトドア用品など

**避難時に身につけるもの**

- ヘルメットなど頭を守るもの
- 履き慣れた底の厚い靴
- 軍手
- マスク
- 携帯電話・スマートフォン

**避難所で便利なもの** **自宅に取りに戻れる場合**

- 毛布・寝袋・座布団・ライター類・缶切り・多目的ナイフ
- ガムテープ・空の段ボール箱・筆記用具・メモ帳
- マスク・帽子・着替え・大型タオル・スリッパ
- 洗面用品・マウスウォッシュ
- 応急医薬品(ばんそうこう・きず薬・胃腸薬・風邪薬・目薬・サプリメントなど)
- アイマスク・耳栓・補聴器・入れ歯用洗浄剤

**ローリングストックについて**

非常用として備蓄している食料品や乾電池などを、日頃から少しずつ使用し買い足していくことで、常に一定の量を自宅へストックしておくことをローリングストックと言います。

**対象食料品の例**  
ペットボトルの水・飲料  
インスタント食品、お菓子乾物、乾麺、缶詰、漬物 など

**対象日用品の例**  
乾電池、カセットボンベ、ウェットティッシュ など(長期放置により機能劣化が考えられるもの)



# 16 避難場所・避難所一覧

令和6年4月1日現在

**指定緊急避難場所** 火災などの災害の危険から緊急に命を守るため、一時的に避難する場所です。

No.	施設名	所在地	災害種別ごとの指定緊急避難場所					掲載マップ
			洪水	土砂	地震	火事	火山	
①	中央公園	十和田市西三番町2番2・160番・624番・625番	○	○	○	○	○	6
②	三木野公園	十和田市東二十三番町17番1	○	○	○	○	○	6
③	若葉公園	十和田市西二十二番町359番5・386番183・387番19・387番53	○	○	○	○	○	5
④	八甲公園	十和田市西二番町75番・76番	○	○	○	○	○	6
⑤	太素公園	十和田市東三番町24番1・28番1	○	○	○	○	○	6
⑥	小稲公園	十和田市穂並町108番14	○	○	○	○	○	6
⑦	瀬戸山公園	十和田市東三番町40番1	○	○	○	○	○	6
⑧	東小稲公園	十和田市穂並町105番35	○	○	○	○	○	6
⑨	西金崎公園	十和田市西二十二番町385番87	○	○	○	○	○	5
⑩	大門公園	十和田市東一番町30番37	○	○	○	○	○	6
⑪	元町公園	十和田市元町東二丁目67番	○	○	○	○	○	6
⑫	三本木公園	十和田市西三番町10番6	○	○	○	○	○	6
⑬	栄森公園	十和田市大字洞内字後野2番5	○	○	○	○	○	1
⑭	あけぼの公園	十和田市東十五番町101番6	○	○	○	○	○	6
⑮	北里公園	十和田市東二十三番町17番391・17番561・17番655	○	○	○	○	○	6
⑯	ひがしの公園	十和田市ひがしの二丁目232番4	○	○	○	○	○	2
⑰	前谷地公園	十和田市東二十一番町16番171・16番178・16番180・16番368・16番1166・16番1167	○	○	○	○	○	6
⑱	三本木霊園	十和田市東十三番町20番5	○	○	○	○	○	6
⑲	南運動広場	十和田市西六番町330番1	○	○	○	○	○	6

**指定避難所** 災害の危険に伴い避難してきた被災者等が、一定期間生活するための施設です。

地区名	No.	施設名	所在地	災害種別ごとの指定緊急避難場所					掲載マップ
				洪水	土砂	地震	火事	火山	
旧市街地	①	南コミュニティセンター ★	十和田市西六番町5-10	○	○	○	○	○	6
旧町地域	②	旧地域包括支援センター ★	十和田市大字奥瀬字中平61-6	○	○	○	○	○	4
三本木小学区	③	市総合体育センター	十和田市西三番町6-6	○	○	○	○	○	6
	④	三本木小学校	十和田市東三番町36-1	○	○	○	○	○	6
	⑤	十和田中学校	十和田市東十六番町27-1	○	○	○	○	○	6
南小学区	⑥	南小学校	十和田市西十五番町3-1	○	○	○	○	○	6
	⑦	三本木高等学校	十和田市西五番町7-1	○	○	○	○	○	6
	⑧	夏間木地区会館	十和田市大字切田字夏間木46-2	○	○	○	○	○	7
	⑨	切田中学校	十和田市大字切田字平林387	○	○	○	○	○	5
北園小学区	⑩	北園小学校	十和田市西十一番町50-18	○	○	○	○	○	5
	⑪	三本木中学校	十和田市西十三番町5-24	○	○	○	○	○	6
東小学区	⑫	東小学校	十和田市一本木沢一丁目1-1	○	○	○	○	○	2、6
	⑬	東中学校	十和田市東二十三番町29-1	○	○	○	○	○	6
	⑭	十和田工業高等学校	十和田市大字三本木字下平215-1	○	○	○	○	○	6
西小学区	⑮	西小学校	十和田市大字三本木字西金崎6-2	○	○	○	○	○	5
藤坂小学区	⑯	藤坂小学校	十和田市大字相坂字小林355-1	○	○	○	○	○	6
	⑰	道の駅「とわだ」	十和田市大字伝法寺字平窪37-2	○	○	○	○	○	8
高清水小学区	⑱	高清水小学校	十和田市大字相坂字高清水900	○	○	○	○	○	2
	⑲	三本木農業恵拓高等学校	十和田市大字相坂字高清水78-92	○	○	○	○	○	2
大深内小学区	⑳	大深内小学校・大深内中学校	十和田市大字洞内字千川田24-6	○	○	○	○	○	2
深持小学区	㉑	深持小学校	十和田市大字深持字林12-3	○	○	○	○	○	5
四和小中学区	㉒	四和小学校・四和中中学校	十和田市大字米田字高谷140	○	○	○	○	○	8
	㉓	月日山林業会館	十和田市大字米田字森ノ越19-1	○	○	○	○	○	9
ちとせ小学区	㉔	ちとせ小学校	十和田市元町西六丁目2-1	○	○	○	○	○	5
	㉕	甲東中学校	十和田市大字深持字南平330	○	○	○	○	○	5
沢田小学区	㉖	沢田悠学館	十和田市大字沢田字下洗21-1	○	○	○	○	○	5
	㉗	沢田小学校	十和田市大字沢田字田屋29	○	○	○	○	○	5
	㉘	第一中学校	十和田市大字沢田字下洗53-3	○	○	○	○	○	5
法奥小学区	㉙	法奥小学校 ☆	十和田市大字奥瀬字下川目102-2	×	○	○	○	○	4
	㉚	西コミュニティセンター	十和田市大字奥瀬字中平70-3	○	○	○	○	○	4
	㉛	奥入瀬溪流温泉「灯と楓」	十和田市大字法量字焼山64-108	○	○	○	○	○	3
十和田湖小中学区	㉜	十和田湖観光交流センター「ぶらっと」	十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋486	○	○	○	○	○	10
	㉝	十和田湖小学校・十和田湖中学校	十和田市大字奥瀬字十和田湖畔字樽部420	○	○	○	○	○	10

★印の指定避難所は、主要な避難所とする。

☆法奥小学校は奥入瀬川洪水浸水想定区域(12時間の総雨量303mm)のため、水害時は指定避難所から除外する。

奥入瀬川洪水浸水想定区域(平成31年1月23日公表)

※避難所は、地震、風水害等災害の種類・状況に応じて開設します。

最新の指定緊急避難場所、指定避難所は、市のホームページに掲載しています。

指定緊急避難場所



指定避難所



# 17 防災情報収集方法、防災関係機関連絡先

災害発生時には、さまざまなツールを通して行動判断に役立つ情報が発信されます。一方で「自らの命は自らで守る」という意識を持って、自分から情報収集し、適切な避難行動に役立てることも大切です。

十和田市では、LINE公式アカウントの運用を開始しました。

**緊急速報メール**

※すべての携帯電話が緊急速報メールに対応しているわけではありません。設定方法等については、各携帯電話会社などにお問い合わせください。  
※市境付近では、配信エリア外でもメールを受信することがあります。

**十和田市の安全・安心メール 駒らん情報メール**

十和田市のイベント情報、災害時の避難所の情報、気象情報などをタイムリーに携帯やパソコンにお届けするメール配信サービスです。登録は**無料**です！

**要登録** anzenjoho@info-towada.jpに空メールを送信し、返信されるメールに記載の登録フォームのアドレスにアクセスし、必要事項を入力してください。

<https://www.city.towada.lg.jp/oshirase/pickup/line-official-account.html>

**十和田市LINE公式アカウント**

市政に関するさまざまな情報をLINEで発信します。

**要登録** コミュニケーションアプリ「LINE」をスマートフォンなどにインストールした後、LINE公式アカウント「十和田市」の友だち登録をし、受信設定から「希望する受信情報」を選択してください。

**戸別受信機(防災ラジオ)**

防災ラジオは、防災行政無線を受信すると自動的に放送を行い、災害に関する緊急性の高い放送や、市からのお知らせを聞くことができます。

**防災行政無線**

**YAHOO!防災速報**

協定による十和田市の防災速報や避難所情報を配信します。

<http://emg.yahoo.co.jp>

**要登録** 「Yahoo!防災速報」公式アプリをスマートフォンなどにインストールし、登録して下さい。

[https://twitter.com/towada_city](https://twitter.com/towada_city)

**十和田市公式 X(旧ツイッター)**

十和田市内の気象情報や避難情報などの防災・災害情報を発信します。

**要フォロー** 「X」公式アプリをスマートフォンなどにインストールし、「十和田市公式アカウント」をフォローしてください。



**青森地方気象台**

青森県内の気象予報、防災情報、観測情報を配信します。

<http://www.jma-net.go.jp/aomori/>

**青森県土砂災害警戒情報システム**

県内の土砂災害警戒情報の細かい危険度情報が確認できます。

<https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/>

**青森県河川砂防情報提供システム**

県内の雨量、水位観測所の観測データなどが配信されています。

<http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/>

**十和田市ホームページ**

十和田市の最新情報を掲載しています。

<http://www.city.towada.lg.jp/>

**あおもり防災ポータル**

国や県の防災情報をパソコン、スマホに届けます。

<https://bousai.pref.aomori.lg.jp>

**国土交通省 川の防災情報**

全国のリアルタイム雨量・水位の情報を提供します。

<https://www.river.go.jp/>

**テレビのデータ放送**

■テレビのリモコンの「d(データ放送)ボタン」を押す。  
■リモコンの矢印で必要な情報に合わせて「決定」を押す。

※テレビのリモコンの一例です

※表示される情報は放送局によって異なります

**停電・緊急時のお問合せは 東北電力ネットワーク**

ネットワークコールセンター **0120-175-366**

【受付時間】 平日・休日を問わず、24時間受付

- ホームページや停電情報アプリで「停電情報」を掲載しておりますのでご覧ください。
- 切れて垂れ下がっている電線は感電のおそれがありますので、近づいたり、触れたりせずにお電話をしてください。

**災害時の安否確認方法を確認しておきましょう**

**災害伝言ダイヤル(171)のご利用方法**

- 1 7 1 にダイヤル**  
ガイダンスが流れます
- 録音する場合 1 再生する場合 2**  
ガイダンスが流れます
- 電話番号を入力**  
(○○○)○○○-○○○○  
被災地の電話番号・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を**市外局番**からダイヤルしてください。

**災害用伝言板(web171)のご利用方法**

NTTドコモ <a href="http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi">http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi</a>		ソフトバンク <a href="http://dengon.softbank.ne.jp">http://dengon.softbank.ne.jp</a>	
KDDI(au) <a href="http://dengon.ezweb.ne.jp">http://dengon.ezweb.ne.jp</a>		楽天 <a href="https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp">https://public-safety.mobile.rakuten.co.jp</a>	

緊急連絡先		火災・救急・救助は…119 事件・事故は…110	
十和田市役所	23-5111	奥瀬駐在所	72-2110
国土交通省青森河川国道事務所十和田国道維持出張所	23-7138	焼山駐在所	74-2001
上北地域県民局 地域整備部	22-8111	十和田湖駐在所	75-2151
地域健康福祉部(七戸町)	62-2145	十和田地域広域事務組合	
十和田警察署	23-3195	消防本部	25-4111
中央交番	23-3566	十和田消防署	25-4115
東交番	22-4346	十和田湖消防署	72-2241
相坂駐在所	23-5096	十和田湖消防署湖畔出張所	75-1011
洞内駐在所	27-2616	東日本電信電話株式会社青森支店	017-774-9550
米田駐在所	28-2200	十和田ガス株式会社	23-3591

**十和田市防災マップ 令和6年2月**

発行 十和田市総務課防災危機管理室 十和田市西十二番町6-1  
TEL 0176-51-6703 FAX 0176-22-5100

制作・著作 株式会社ゼンリン 八戸サービスセンター  
八戸市大字廿三日町10 石万ビル3F  
TEL 0178-43-3579 FAX 0178-43-9717

無断で複製、転載することはご遠慮ください。著作権者に無断で本誌の全部、または一部を複製及び転載することは、著作権法により禁止されています。

「この地図は、十和田市長の承認を得て、同市作成の1/2,500地形図を使用して調製したものである。令和2年8月19日(承認番号)十市都第265号」  
「この成果品は、青森県が作成した測量成果を青森県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 令和2年1月15日付け青林第941号)」  
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 167-072号」

本文中の地図は、弊社2021年3月発行の十和田市①、②のデータをもとに作成しています。また、住宅地図による現地調査情報、編集独自の細かな情報も加えて制作しています。

作成には細心の注意を払い、編集作業を行っていますが、データ量は膨大であり、日々変化する現状と地図面が一致しない場合があります。また、目標物は見やすさを優先し、正式名称などを一部割愛して掲載しています。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

